




府中市社会福祉協議会

地域福祉コーディネーター 生活支援コーディネーター

平成30年度～令和2年度活動報告書



気づく・動く・つながる
みんなが主役！
地域で支えあう
まちづくり

はじめに

国では、これまで、高齢者分野を中心に「地域包括ケアシステム」*の構築を目指してきましたが、制度の狭間にある問題や複合的な課題を抱えている人・世帯への対応が課題になったことから、平成28年の「ニッポン一億総活躍プラン」において「地域共生社会」*の実現に向けた取り組みを推進しています。さらには、地域住民の複合化・複雑化した支援ニーズに対応する市町村における包括的な支援体制の構築を推進するため、「重層的支援体制整備事業」*が創設され、高齢、障害、子ども、生活困窮の制度ごとに分かれている相談支援などの関連事業について一体的に行われるような財政支援に切り替えるなど、さらなる横断的な相談体制整備が急務となっています。

こうした中、府中市社会福祉協議会（以下、「府中市社協」という）では、第3次地域福祉活動計画（平成27年度から平成32年度までの計画）において、2つの重点目標である①わがまち支えあい協議会の設置②地域福祉コーディネーターの配置を市内11か所ある文化センター圏域ごとに推進し、実現することができました。

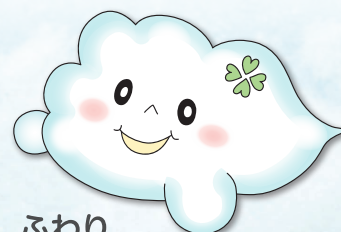
目標を達成するため、平成27年度から市内11か所ある文化センター圏域において重点目標をご理解いただくための説明会と懇談会を

適宜開催し、平成28年度からは「わがまち支えあい協議会準備委員会」として本格稼働へ向け、地域住民や団体職員の皆さんといっしょに取り組んできました。平成28年度、平成30年度に1か所ずつ、令和元年度に1か所、令和2年度に2か所立上り、令和3年度には6か所とすべての文化センター圏域で「わがまち支えあい協議会」が立上ります。また、平成28年度から取り組んできた、地域住民のすべての方を対象とした相談窓口である「暮らしの困りごと相談会」は令和3年度には、すべての文化センター圏域で実施します。

今回の報告書は、平成30年度から令和2年度までの地域福祉コーディネーター・生活支援コーディネーターの歩みを中心にまとめたものです。

今後とも、現在推進中の第4次地域福祉活動計画、地域共生社会の実現へ向け、役職員一同注力してまいりますので、関係者の皆様方の特段のご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

社会福祉法人 府中市社会福祉協議会
会長 伊藤敏春



ふわり

社協マスコットキャラクター

目次



はじめに

コーディネーターとは

- ・地域福祉コーディネーター 1
- ・生活支援コーディネーター
- ・コーディネーターの配置状況

コーディネーターの動き

- ・地域福祉コーディネーターと生活支援コーディネーターの役割 2

支援事例紹介

- ・支援事例① 個別支援 4
- ・支援事例② 個別支援から地域支援 6
- ・支援事例③ 地域支援 8
- ・支援事例④ 地域支援 10

市内全域での取り組み

- ・わがまちタウンミーティング 12
- ・地域の居場所づくりの支援 14
- ・困りごと相談会 16
- ・地域なんでも相談員 18
- ・地域のボランティア活動支援 20
- ・わがまち支えあい協議会 22

※文中の「*」印のついている用語については、P64～65に用語解説がありますので、ご参照ください



各文化センター圏域活動紹介

- ・各圏域の現状と取り組み 25
- ・府中市データ
- ・圏域図
- ・紅葉丘 文化センター圏域 26
- ・白糸台 文化センター圏域 28
- ・押立 文化センター圏域 30
- ・是政 文化センター圏域 32
- ・新町 文化センター圏域 34
- ・中央 文化センター圏域 36
- ・片町 文化センター圏域 38
- ・武蔵台 文化センター圏域 40
- ・西府 文化センター圏域 42
- ・住吉 文化センター圏域 44
- ・四谷 文化センター圏域 46

資料編

- ・わがまち支えあい協議会開催状況 48
- ・わがまち支えあい協議会による地域活動 49
- ・コーディネーター活動状況 55
- ・相談対応件数 56
- ・相談者分類 57
- ・相談内容分類 58
- ・困りごと相談会開催状況 59
- ・地域支援を行った団体 60
- ・助成金交付件数 61
- ・出張ボランティア実施回数
- ・外部会議等への出席状況 62
- ・外部研修等への出席状況 63
- ・用語解説① 64
- ・用語解説② 65

コーディネーターとは

地域福祉コーディネーター

～個別支援と地域支援、そして関係機関との横断的な連携～

制度の狭間にあるような困りごとを抱えている方の社会的孤立*の解消を目的とした、一人ひとりに寄り添った支援（個別支援）や、地域住民が一人ひとりの困りごとを地域全体の課題として捉え、地域住民が連帯意識を持って活動を創り出す支援（地域支援）を行う役割を担っています。

生活支援コーディネーター

～地域支援を推進するためのネットワークの構築と協議体の設置～

生活支援コーディネーターは、介護予防・日常生活支援総合事業（以下、「総合事業」という）に位置づけられた専門職で、高齢になっても住み慣れた地域で暮らしていけるよう、住民同士の支えあいの取り組みや、生きがいづくり・自分らしく活躍できるための場づくりを進めていく役割を担っています。

第1層（市全域を対象にした資源開発や協議体の設置）と第2層（中学校圏域：人口20,000～30,000人程度を対象にした具体的な活動の創出）に分かれており、府中市においては、第1層を専従で1名、第2層については地域福祉コーディネーターの役割にもある地域住民同士の活動を支援する「地域支援」という共通の役割もあることから、地域福祉コーディネーターと兼務という形で配置しています。

コーディネーターの配置状況

地域福祉コーディネーターは、府中市社協が推進する第3次地域福祉活動計画（平成27年度～平成32年度）に基づき、11箇所の文化センター圏域全てにおいて、11名の地域福祉コーディネーターを各文化センター圏域に配置することができました。

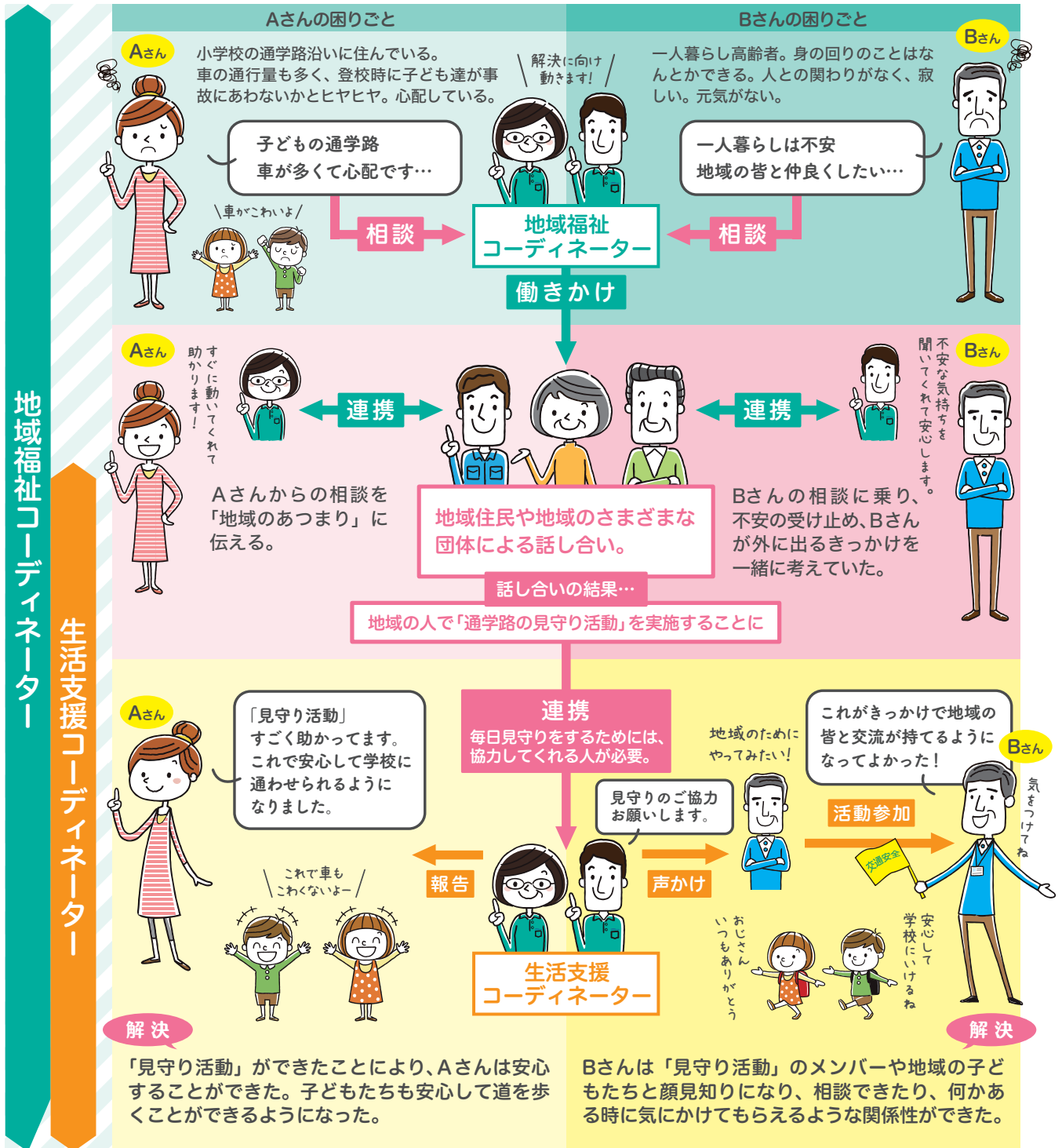
令和3年度から新たに始まる第4次地域福祉活動計画においては、更なる相談支援体制の強化を目指して、地域福祉コーディネーターの複数配置と、各文化センター内での相談拠点の配置を目標に掲げており、実現に向けて確実に事業を進めてまいります。

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
地域福祉 コーディネーター	府中市からの委託による地域福祉コーディネーターの配置			
	押立文化センター圏域 武蔵台文化センター圏域 住吉文化センター圏域 紅葉丘文化センター圏域	押立文化文化センター圏域 武蔵台文化センター圏域 住吉文化センター圏域 紅葉丘文化センター圏域 片町文化センター圏域 新町文化センター圏域	押立文化センター圏域 武蔵台文化センター圏域 住吉文化センター圏域 紅葉丘文化センター圏域 片町文化センター圏域 新町文化センター圏域	押立文化センター圏域 武蔵台文化センター圏域 住吉文化センター圏域 紅葉丘文化センター圏域 片町文化センター圏域 新町文化センター圏域 白糸台文化センター圏域 是政文化センター圏域 中央文化センター圏域 西府文化センター圏域 四谷文化センター圏域
生活支援 コーディネーター	府中市からの委託による生活支援コーディネーターの配置			
	第1層1名 第2層4名 (第2層は地域福祉コーディネーター兼務)	第1層1名 第2層6名 (第2層は地域福祉コーディネーター兼務)	第1層1名 第2層6名 (第2層は地域福祉コーディネーター兼務)	第1層1名 第2層11名 (第2層は地域福祉コーディネーター兼務)

コーディネーターの動き

地域福祉コーディネーターと生活支援コーディネーターの役割

一人ひとりの困りごとを地域につなげるのが「地域福祉コーディネーター」で、その困りごとの解決に向けたしくみをつくり、「地域福祉コーディネーター」とともに広げていくのが「生活支援コーディネーター」です。



地域福祉コーディネーター

生活支援コーディネーター



府中市社会福祉協議会のコーディネーターが双方の役割を担うことで、地域のみなさんと「地域につなぐ」、「地域をつくる」、「地域へ広げる」を一体的にすすめていきます。



支援事例紹介



32年間、引きこもりがちだった男性の就労までの支援

1.きっかけ

平成30年、近隣の民生委員から、高齢だった母が亡くなり、その家に住んでいた息子について相談を受けた。本人は小学校6年生以降、学校に行っておらず、ずっと家にいて45歳になっていた。「学校時代、先生が何を言っているのか良くわからなかった」「周りからは天然と思われていた」「友人とのコミュニケーションがうまくできず、仲間に入れず次第に学校に行かなくなった」ということを聞いた。

身の回りの世話をしていた母が亡くなった後は、水道が止まり、猫が数匹住み着く家で、知的障害のあるいとこ2人と一緒に、銭湯や公園で水を汲んで生活をしていた。

2.支援の流れと成果（右図参照）

(1) ニーズ把握と他機関連携

相談を受けて、民生委員と一緒に自宅を訪問した。本人は、言葉や表情の表出は少ないものの、ボランティアや仕事などをしてみたい意欲があること、半年後には住まいの建替えのため、転宅しなくてはならないこと、転宅後に貯えが尽きそうなことなどがわかってくる。それまでに関わっていた保健所や市の障害者福祉課と相談をし、貯えが尽きた後に生活保護の申請をしていく方向で進めていく事になった。

(2) 就労準備支援と生活基盤づくりの支援

兄弟やいとこと連絡を取り合い、転宅に向けて、本人にできそうなことはやってもらいながら、手続きが難しいところを手伝う。市の生活援護課の関わりにより、半年後には一般就職が決まる。しかしその半年後には仕事の依頼が来なくなってしまい、本人も困っている様子だった。そこで、一緒にメンタルクリニックへ通い、心理テストの結果から、他人とのコミュニケーションに難しさがあること、周りの言っていることが理解できないことがあること、こだわりや不安についてはそこまで強いものはないことなどがわかり、民間の就労移行支援事業^{*}所の利用を勧められる。

(3) 就労につなげるための支援

就労につながるまでの間、本人の日課のために何かできないかと農家に相談をしたところ、畑作業ボランティアとして受け入れてくれることになる。はじめは本人からの言葉が出てこないことで、やり取りに苦労されたこともあったが、次第に農家から頼りにされるようになる。本人もやりがいを感じていて、もし仕事に就いたとしても、畑に行く日は作りたいと言われる。

一方で、就労移行支援事業所への見学もしてみたが、通うことへの不安がぬぐえず利用につながらなかった。その頃、自宅近くにできたカフェで庭園の掃除をしてくれる人を探していると聞き、地域福祉コーディネーター（以下、「コーディネーター」という）から、問い合わせをする。庭園の持ち主である石材店社長がとても理解のある方で、試用的に雇用が決まる。「本人にとって無理のない形で良い」と提案してもらい、週2回の掃除がスタートする。1か月ほど経った後、仕事ぶりを見て、「石材店本業の墓掃除をしてみないか」と連絡をもらった。本人に気持ちを聞くと、「今のままで良い」と一端は辞退されたが、後日、庭園掃除の中で関わってくれる方々に安心感があること、家の近くで働きたいと思っていること、人とあまり関わらない裏方の仕事が良いことなどを聞く事ができた。まずはコーディネーターと一緒に仕事体験をさせてもらい、パート就労を始める意思が固まる。

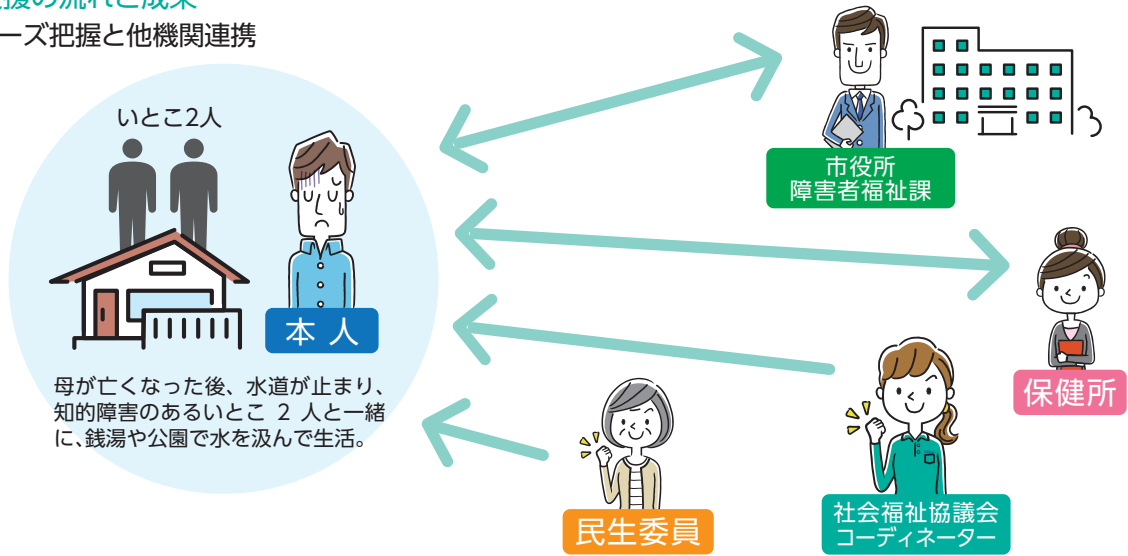
3.今後に向けて

今回のケースは制度の狭間で埋もれていたケースである。本人との出会いの貴重なきっかけから、本人の意向、障害の状況、地域の方を巻き込みながら、丁寧に支援してきた。地域密着で動けるコーディネーターだからこそできた、就労準備支援であり、就労へとつながったと思われる。今後も、本人が生きがいを持って自立した生活をしていけるように、寄り添っていく。

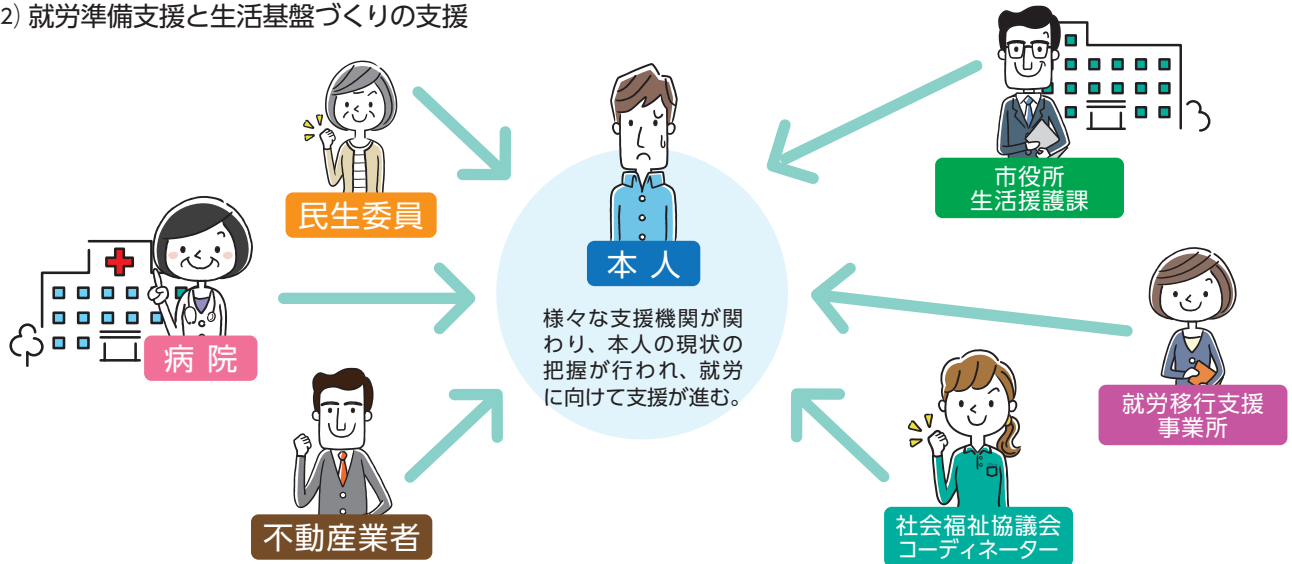
こういったケースと、どのようにしたら出会うことができるのか、今後もわがまち支えあい協議会の（P22参照）活動などを通して、顕在化できる機会を探っていきたい。

2. 支援の流れと成果

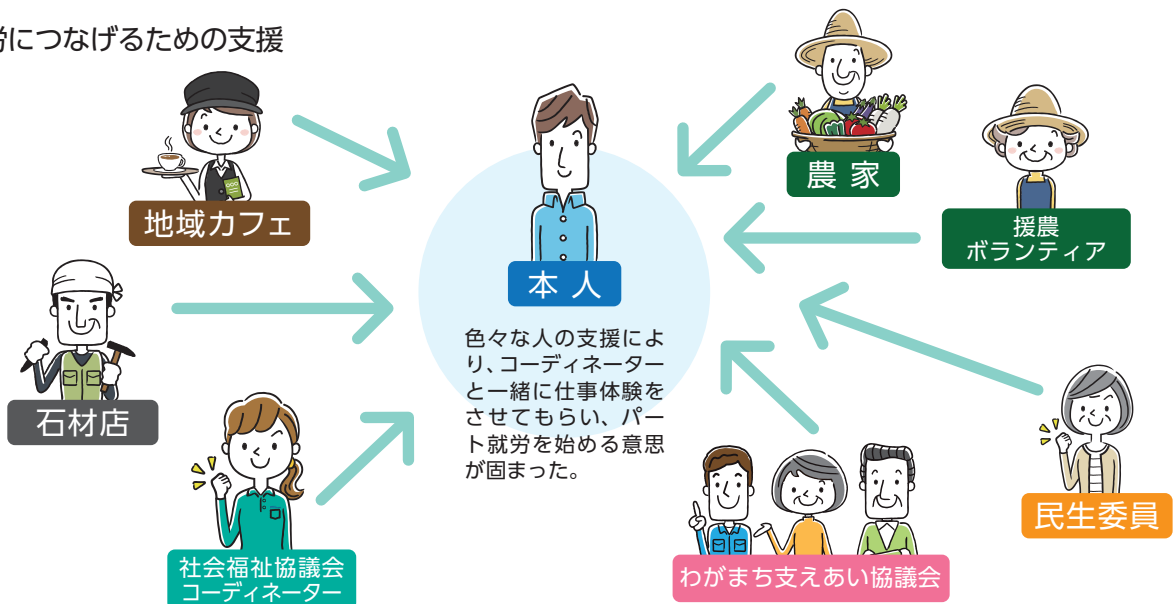
(1) ニーズ把握と他機関連携



(2) 就労準備支援と生活基盤づくりの支援



(3) 就労につなげるための支援



支援事例 ②：個別支援から地域支援

発達障害児童の下校見守りの実践を通して、生活支援のしくみづくりを考える

1. きっかけ

スクールソーシャルワーカー*（以下、「SSW」という）より、特別支援教室*に通う発達障害のある5年生のAくんが下校する際、地域住民に見守って欲しいと相談があった。

地域のわがまち支えあい協議会では、地域住民同士の「ちょっとした生活支援」*の実施に向けたお試し活動中で、コーディネーターから、わがまち支えあい協議会メンバー（以下、「わがまちメンバー」という）に相談を持ちかけた。

2. 支援の流れと成果（右図参照）

(1) ニーズ把握と他機関連携

SSWから初回相談を受けて、コーディネーターが相談支援専門員*と自宅を訪問。

地域住民での下校見守りの協力依頼前、Aくんは学校の登下校の時間帯をずらして通学し、週に数日放課後等デイサービスを利用していたが、Aくんには合わず終了。それに伴って、毎日学校の登下校には、母が付き添っていた。Aくんは一人で下校できる状況ではあるものの、同世代の児童に会うことでおきるパニックへの不安感が強い。しかしながら障害者(児)福祉サービス支援の利用には限界があるため、週に1回でも地域の方に下校時の見守り(Aくんと数mの距離を置く)をお願いしたいということだった。

母としては、今後中学校進学を含め、一人での下校をきっかけにAくんの自立を促していきたいという意向もあった。

コーディネーターから、Aくんと母にわがまち支えあい協議会の活動を説明し、同時に下校見守りについてのAくんの意向も確認。わがまちメンバーへの情報共有の了解を得て、後日、わがまちメンバーに投げかけし、Bさん・Cさんがお手伝いを了承してくれた。

(2) ちょっとした生活支援の調整・支援会議への参加

下校見守りを了承したBさん、CさんにAくんの詳細の情報提供と下校見守り実施までの流れの確認調整を行う。

地域住民による、ちょっとした生活支援の実施

に向けての進捗報告と今後の支援の方向性共有のための、Aくんの支援会議が開催された際には、Bさん、Cさん、コーディネーターも支援会議に出席。Aくん、母、学校、各関係機関担当者と顔合せをする。支援会議では、実際の下校見守りの流れ、パニック時の対応、下校後の学校への連絡方法などを確認。

(3) ちょっとした生活支援の実施調整と継続支援調整

Aくんが不安にならないよう、支援会議後の初回見守りにはコーディネーターが同行、以降単独での見守りを実施した。Aくんも後方に見守ってくれる人がいることで一人での下校ができた。言葉は交わさないが、自宅に入る前お辞儀をしてもらえることから、信頼してくれている様子が伺えた。

Bさん、Cさんが活動継続できなくなった際は、コーディネーターが再度わがまちメンバーに声かけ、調整をし、Aくんが不安にならないように顔合せと引合せを行い、新しいわがまちメンバーのDさん・Eさん・Fさんでも受け入れてもらえるよう寄り添った調整に努めてきた。

3. 今後に向けて

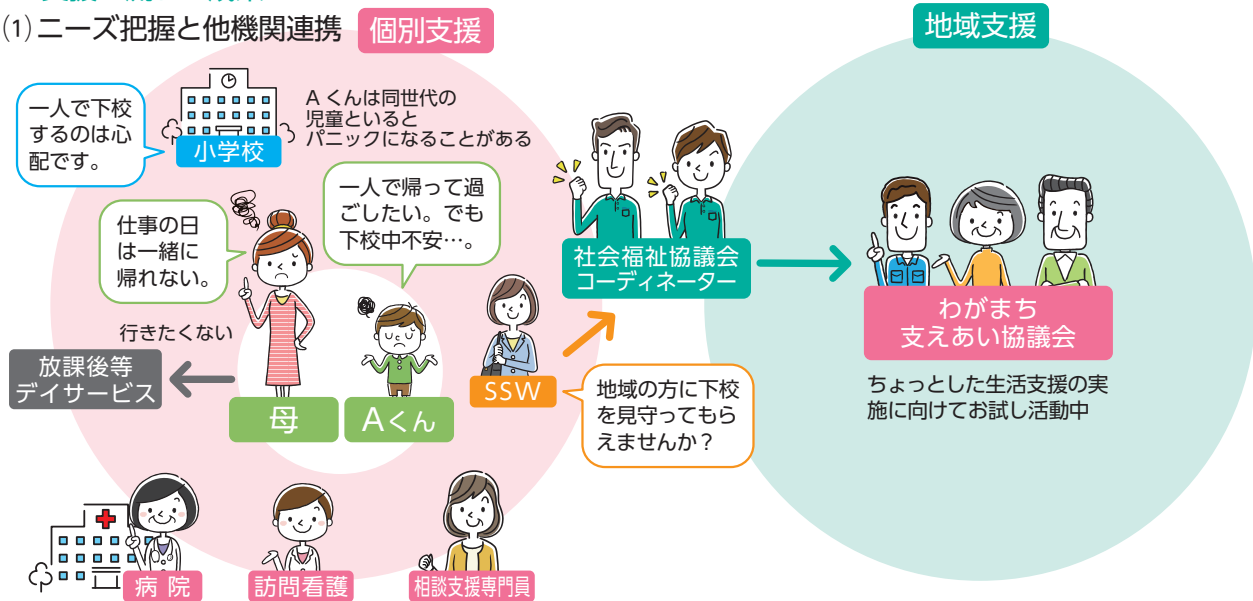
(個別支援) 家族、制度上のサービスだけでは解決が困難と思われたケースであったが、地域住民のちょっとした生活支援とつながったことで、Aくんの不安を安心に変えることができた。中学校に進学した以降もAくんが自信を持って下校できるよう見守り活動は継続中。通学路以外での地域の見守りメンバーが増えている。

(地域支援) 活動体としてのちょっとした生活支援のしくみづくりでは、コーディネーターが中心となり、わがまちメンバーと共に地域住民の個々の困りごとの把握、お手伝い調整、実施の流れを経験することで、この活動の必要性を認識し、活動を拡充していくきっかけとなった。

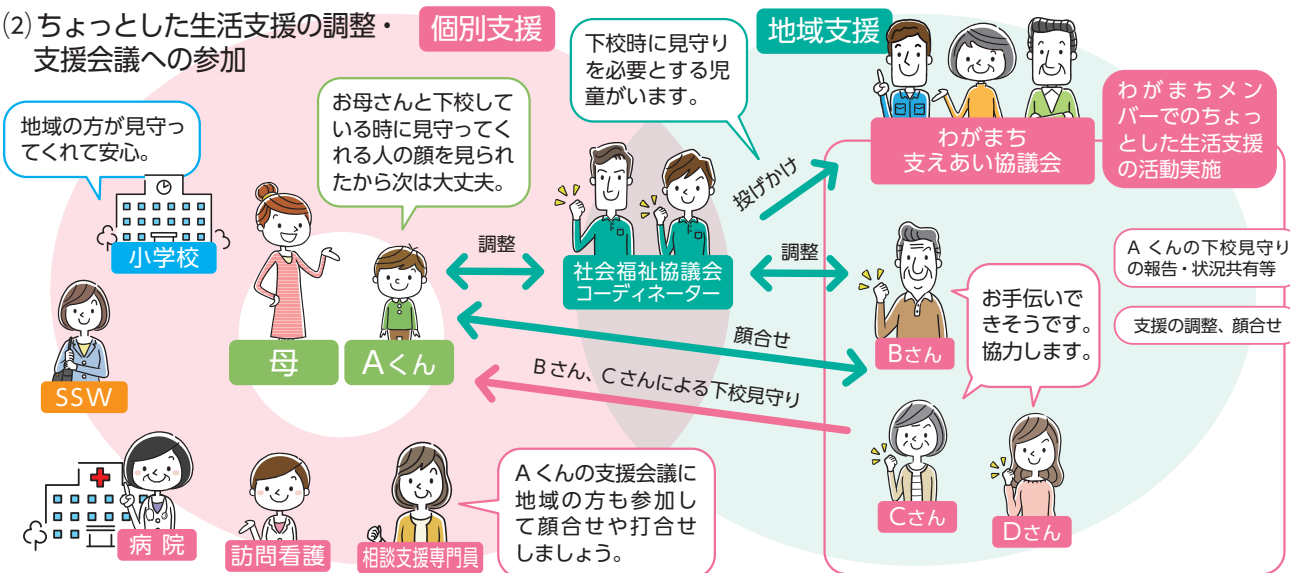
今後も、Aくん家族だけではなく、コーディネーターが受けた個々の困りごと相談を地域住民の活動につなげることで、お互いが支えあえる地域づくりを目指したい。

2. 支援の流れと成果

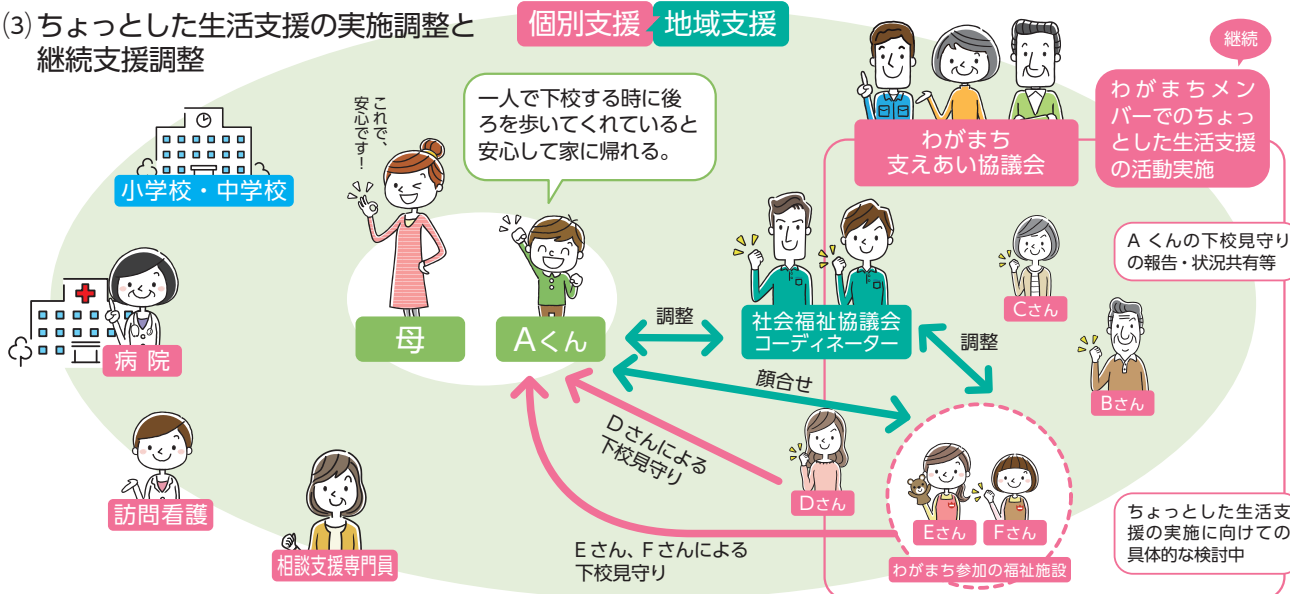
(1) ニーズ把握と他機関連携 個別支援



(2) ちょっとした生活支援の調整・支援会議への参加 個別支援



(3) ちょっとした生活支援の実施調整と継続支援調整 個別支援 地域支援



あなたの食堂の立上げ*支援

1.きっかけ

食堂を開きたいという相談者は、認知症の母を介護していた経験を活かし、平成28年10月より、自宅を利用して認知症カフェ*を開催している。平成30年5月、「一人で食べる食事は何とも味気なく、つい手を抜いたり、時には食事を抜いたりしてしまうこともあるのでは。そんな方たちのために、大人も子どもも関係なく利用できる食堂を開きたい。誰かとお喋りしながら、温かいできたての食事を召し上がっていただきたい。」という思いで、誰でも食堂を開催したいと、コーディネーターへ相談が入る。

2.支援の流れと成果

(1) 立上げ支援

食堂の開催場所は、すでに認知症カフェで使用している自宅だが、食堂を開催するにあたっての設備が整っているかなど、コーディネーターが自宅を訪問して確認した。

地域へのPRとして、ポスターを掲示してもらえよう、一緒に商店街へ挨拶回りに行ったり、民生委員児童委員協議会にてPRを行なった。また、担い手として、府中市社協とつながりのあるボランティアに声をかけたり、参加者として該当する方々に声をかけた。助成金申請や保険加入など、事務的な手続きについても、一緒に確認しながら行なった。

(2) 運営支援*

食堂開催時には、コーディネーターが定期的に訪問し様子を伺い、担い手や参加者などの情報共

有、次回の開催の確認など、運営の支援を行なっている。一人暮らしの高齢者の方や、どこにも行く場所がない、地域に知り合いがいないという方がいたら、コーディネーターより食堂を紹介をするなど、開催を重ねていく中で、地域の居場所として定着してきている。

また、コーディネーターが若年性認知症*の方と関わる中で、なかなか地域の中で居場所がないという課題があったが、食堂につないだところ、主催者からの働きかけもあり、ペンキ塗りをしたり、調理の手伝いをするなど、食堂の中で役割を持って関わられるようになった。食堂は、地域の居場所という役割だけでなく、本人の持っている力を発揮できる場所、役割を持って担い手として活躍できる場所にもなっている。

その後も、障害のある方が地域でボランティアをしたいという相談がコーディネーターに入った際には、食堂へつなぐなど、食堂は地域の資源の一つとして重要な役割を担っている。

3.今後に向けて

新型コロナウイルスの影響で、令和2年4月から活動を休止した。令和2年12月、活動再開に向け、主催者からコーディネーターへ相談が入る。感染予防対策のガイドラインなどについて情報を共有し、活動再開に向け一緒に考えていくことを伝える。孤食*解消の誰でも食堂という役割だけでなく、地域の居場所、活躍の場という役割もあり、一日でも早く活動を再開できるよう、コーディネーターとして関わっていく。



青いおうちが目印です

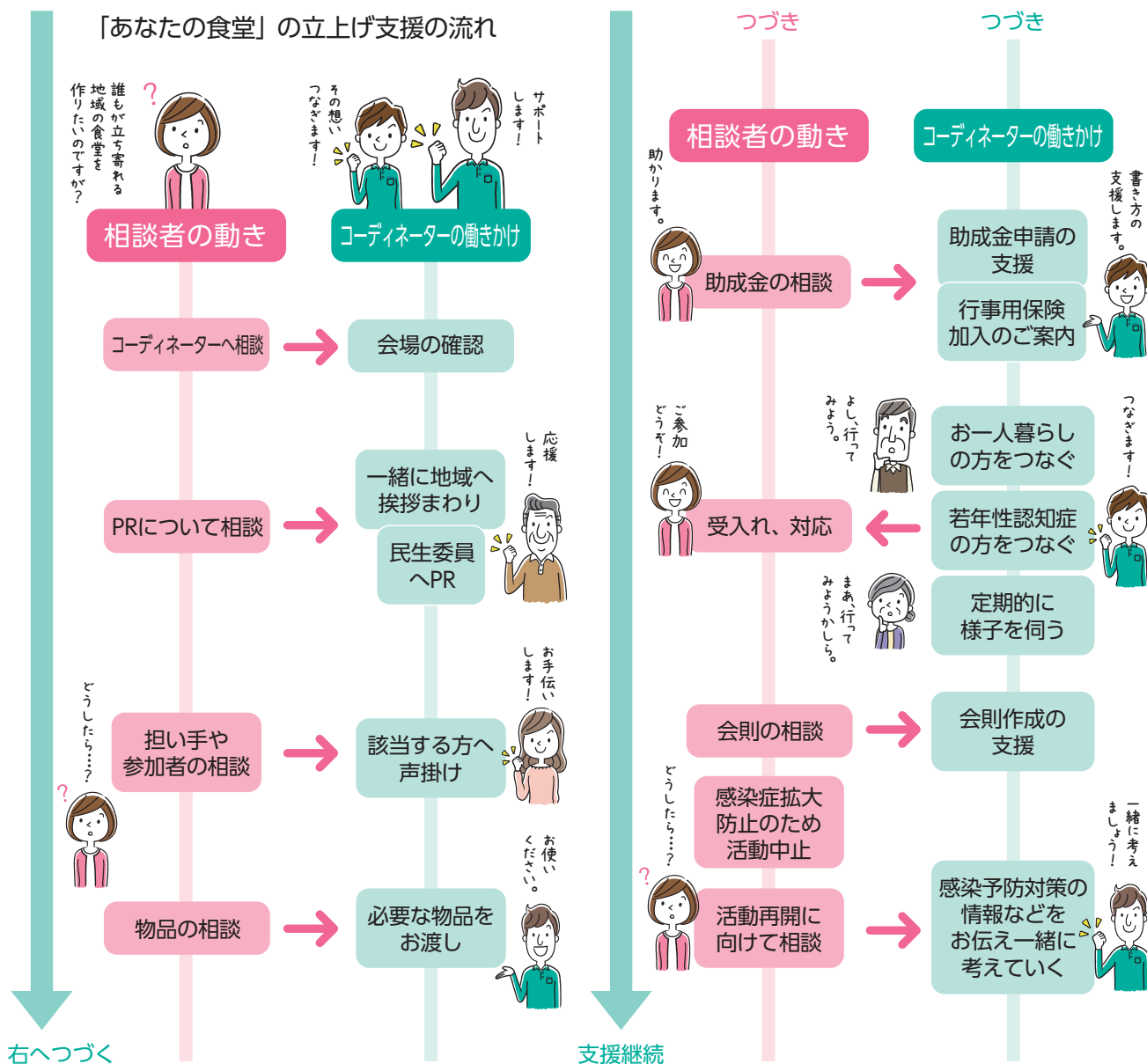


栄養満点のメニュー



メニュー立て看板

「あなたの食堂」の立上げ支援の流れ



若年性認知症の方などが役割を持ち、活躍できる場になれていると思う。誰もが誰かのためにという、お互いさまの支えあいができるのでは。

相談者
コメント

自分の得意なことを活かし、それが地域のためになっていて嬉しい。

担い手
コメント

食の支援を通じたネットワーク形成

1.きっかけ

平成30年春、生活困窮者への支援のため、また孤立しない地域づくりのひとつとして、食の支援を通じた活動の検討を始めた。市内でのフードバンク*立上げを目指して、まずは府中市社協内で調査研究プロジェクトとして、市の生活援護課の協力を得て、近隣市のフードバンクを視察し、市内での展開について検討を始めた。

2.支援の流れと成果

視察後、都内社協での取り組みについても情報収集し、府中ではどういった形での立上げを目指すのか検討した。わがまち支えあい協議会などの住民を活動主体とし、地域の福祉団体や企業等の地域公益活動と結びつけながらの展開を目指し、モデル地区と想定したエリアに提案するが、担い手不足、勉強不足という意見があったことから住民向けの学習会を企画することになった。

その後、学習会参加者を中心とした準備会をスタートさせ、月に一度の会合をもった。話し合いの中で、フードロス*、フードバンク等が地域には十分に知られていないということから、PR活動を重点的に実施する方向性となった。まず、わがまち支えあい協議会と連携して文化センター地域まつりに参加し、募金やアンケートを実施。令和元年度の福祉まつりへの出展は台風で中止となっ

わがまち支えあい協議会での取り組み (令和2年度)

	フードパントリー	フードドライブ
押立	11回、299世帯	協力 16名
四谷	—	協力 81名
紅葉丘	4回、74世帯	協力 87名、施設 2団体
新町	11回、242世帯	—
片町	—	協力 3名、施設 1団体
武蔵台	1回、14世帯	—

たが、府中市ごみ減量・3R推進大会への出展でフードバンクやフードロスの取り組みを周知し、協力者を募った。ほか、地域の子どもたちにフードロス削減の取り組みを知ってもらうために、市内小中学校に提案。また食品保管の倉庫や拠点となる場所はないか、府中市社協広報紙で募集記事を掲載、市内で候補地を探した。

3.今後に向けて

コロナ禍となり、毎月の会議や人が集まる場でのPRの中止が続く中、令和2年春、「この状況だからこそフードバンクの活動が必要とされている」と、準備会メンバーを中心とした有志でフードバンク府中が設立される。フードバンク府中では、学生向けのフードパントリー*を毎月開催するほか、地域の子ども食堂*等団体への支援、行政や府中市社協からの要請で個人への食料支援などを実施。わがまち支えあい協議会でもフードドライブ*やフードパントリーの取り組みを実践している。府中市社協は今後もフードバンク府中や他の支援団体との連携をとりながら、食の支援を通じたネットワークづくりを目指していく。

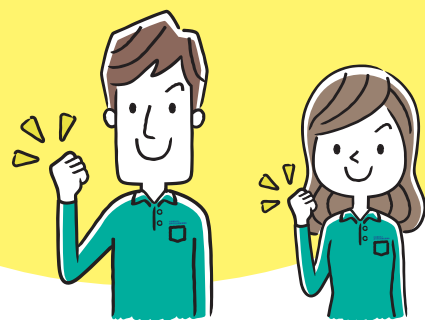


令和元年度 地域まつりでPR活動



令和2年度 フードパントリーの様子

市内全域での 取り組み



わがまちタウンミーティング

概要説明

住民同士の支えあいを推進するため、市内全域での普及啓発、情報の共有や学習、つながりの機会として年度内2回開催している。

平成30年度～令和2年度の経過

平成30年度 ▶ わがまちタウンミーティング実施内容

第1回 テーマ・目指したこと

一人の困りごとから地域でできることを考えることで、地域活動に活かしていくヒントを考えていこう。

タイトル	みんなで考えよう！ 府中花子さんが安心してこのまちで暮らせるように
内容	参加者：96名 ・事例検討（事例検討シートを用いてケースの強みと地域でできること等をグループに分かれて検討）

第2回 テーマ・目指したこと

「市内のわがまち支えあい協議会では、どんな取り組みをしているの？」活動者同士がお互いに、直接情報交換できる機会をつくり、活動に活かしていこう。

タイトル	支えあい活動見本市 きっとあなたにピッタリの地域活動が見つかります
内容	参加者：126名 ・活動報告（生活支援と子どもの見守り） ・活動内容のパネル展示 （活動者がパネル前で説明、参加者は自由に見て回った）

タウンミーティング 参加者の感想	近所の見守り、 声掛けは大切だ	地域にはどんな 困りごとがあるの？	生活支援は取り組み やすい活動だと思う
---------------------	--------------------	----------------------	------------------------

地域活動の広がり

わがまち支えあい協議会の取り組みのPR
地域住民アンケートの実施
地域アンケート▶8圏域
子ども見守りアンケート 1圏域（小学校2校）

ちょっとした生活支援
生活支援の開始 ▶ 11圏域
（お試しでの実施も含む）

令和元年度（平成31年度）▶ わがまちタウンミーティング実施内容

第1回 テーマ・目指したこと

地域とのつながっていく方法や、助け合い活動について、元気に活動している先進事例を聞いてみよう。

タイトル	おたがいさまで生き生き 自分の元気を地域の元気に！
内容	参加者：99名 ・先進活動事例紹介 豊島区『きんぎょサロン』 横浜市港南区『助け合いグループ茶卓』

第2回 テーマ・目指したこと

認知症についての学びと、認知症の方が安心して地域で過ごしていくことができるよう考えていこう。

タイトル	認知症になっても安心 わがまち府中！
内容	※権利擁護課との共催 （感染症拡大防止のため開催中止）

タウンミーティング 参加者の感想	いろいろな考え方や活動 がこれからの参考になる	具体的な内容の話を聞く ことができて良かった	お互いに助けあえるという ことは素晴らしいと思った
---------------------	----------------------------	---------------------------	------------------------------

地域活動の広がり

多様な交流の場の開催
 子どもの発達に不安のある家族の交流会 → 1圏域
 多世代が集う地域の食堂 → 2圏域



令和2年度 ▶ わがまちタウンミーティング実施内容

第1回 テーマ・目指したこと

平成28年度からの「これまでのわがまち」を
振り返り「これからのわがまち」(これからの活動)
を考えていこう。

タイトル	わがまちでつながろう！
内容	わがまち支えあい協議会に関わる住民の 方対象に開催 押立・車返ささえあい協議会の立上げか らの振り返りの話。ワールドカフェ*方式 での情報交換

第2回 テーマ・目指したこと

コロナ禍だからこそつながり続けているい
ろいろな取り組みを紹介して、地域の活動を
応援しよう。

タイトル	今つながり続けるために地域でできること ～支えあい活動のヒント～
内容	動画等でのコロナ禍でもつながり続けて いる活動紹介 (感染症拡大防止のため開催中止)

タウンミーティング 参加者の感想	コロナ禍でも できることはある	コロナ禍だからこそ、 つながりを大切にしたい	感染症は不安だけど 困っている人がいる のだから活動したい
---------------------	--------------------	---------------------------	-------------------------------------

地域活動の広がり

コロナ禍での困窮 食の支援
 食材の寄付 (フードドライブ)
 食材の配布 (フードパントリー)
 フードドライブまたはフードパントリー → 4圏域

コロナ禍、集えないからこそその「地域の居場所」(P14
参照)の新たなつながり方
 ・お便りの作成
 ・班ごとに分かれての見守り訪問
 ・小グループに分かれての開催
 ・オンラインでの開催

タウンミーティングの様子

『わがまちタウンミーティング』に参加された皆さんが、何か一つでも次の活動につながるきっかけや情報を持ち帰り、また人との出会いの場になれたらという想いで企画している。この3年間も、新たな取り組みがはじまり、広がりがあった。今後も地域活動の現状と課題、これから目指していきたいものは何かを考え、支えあいの取り組みを一人でも多くの市民に伝えること、また、活動への関心を高め、取り組みに繋げていくことが必要である。



地域の居場所づくり（ふれあいいきいきサロンなど）の支援

概要説明

地域住民が主体となって、地域の高齢者や障害者(児)、子育て中の親子等を対象に身近な場所で定期的に地域活動を行っている団体支援や活動の立上げ・運営に関する相談支援をしています。

用語説明



サロン交流会

サロン活動者、これから立上げようとしている人、興味のある人を対象に交流会を行い、地域の支えあい活動を広める。

サロン連絡会

サロン活動のネットワークづくり

サロンマップ*の会

分野を越えたサロンマップの作成と作業を通してサロン活動者同士の関係づくり

平成30年度～令和2年度の経過

平成30年度 ▶ 地域の居場所づくりの支援実績

サロン連絡会

参加者 17名

〔内容〕福祉まつりへの参加について
サロン活動についての情報交換

サロン交流会

Let's 地域交流活動！

サロンをはじめよう！ひろげよう！

- ①サロン活動紹介・情報交換 36名
- ②サロン内容についての情報交換 24名

サロンマップの会

12回 53名

サロンマップ掲載数

76団体



サロン交流会の様子

令和元年度（平成31年度）▶ 地域の居場所づくりの支援実績

サロン連絡会

参加者 12名

〔内容〕福祉まつりへの参加について
Tシャツ・リサイクルエコバック作成、
情報交換等

サロン交流会

Let's 地域交流活動！

サロンをはじめよう！ひろげよう！

- ①サロンマップ紹介・情報交換 39名
- ②ミニサロン体験・情報交換 22名

サロンマップの会

10回 50名

サロンマップ掲載数

79団体



わがまちサロンマップ

サロン連絡会（紙面開催）

〔内容〕 交流会報告とサロンマップ掲載についての状況確認

サロン交流会

Let's 地域交流活動！

サロンをはじめよう！ひろげよう！

- ① 感染症拡大防止のため開催中止
- ② 感染症対策について・情報交換 24名



サロン交流会にて「カフェ・ルピナス」の発表

サロンマップの会

3回

サロンマップ掲載数

74団体



地域からの相談があり、コーディネーターが考え、動きがはじまりました

こんな相談が寄せられました	コーディネーターはこう考えました	こんな動きになりました
サロンをはじめたいけれど何をしたらいい？	あの場所、空いてるかな？一度見学させてもらおう！	サロン見学や連絡会や交流会にお誘いし、すでに活動されている方からノウハウを教えていただいています。府中市社協が助成金のご相談も受けています。
会場が借りられなくなるので、ほかに場所はないだろうか。	あのボランティアさんに声をかけてみようかな。	地域の企業団体や自治会の方に場所のご協力などをいただきました。
活動の仲間を増やしたい参加者ももっと増やしたい。	ほかでも同じような声があるんじゃないかな…情報をあつめてみよう。	わがまち支えあい協議会にお誘い。参加者や協力者が増えました。
新型コロナで今までのようには活動できなくなったけれど、何かできないかな。	あの企業は地域のつながりに興味をもっていたな…	コロナ禍でどのように活動しているか、工夫しているかの情報収集をしました。
感染症対策ってどうしたらいいの？	あの方をつなぎたいな今度一緒に参加してみよう。	交流会で感染症対策を確認、情報交換をしました。



困りごと相談会

概要説明

身近な地域で、「どこに相談したらいいかわからない」「誰かに聞いてほしい」といった、ちょっとした暮らしの心配事などを相談できる場所として、「困りごと相談会」を開催。年度ごとに会場を増やしながら令和2年度現在、計6か所の文化センターで、週1回開催している。

「困りごと相談会」これまでの動き（平成28年11月～平成29年11月）

平成28年11月 押立圏域、武蔵台圏域で開始 平成29年11月 住吉圏域で開始

平成30年度～令和2年度の経過

平成30年度 ▶ 困りごと相談会開催実績

平成30年11月

紅葉丘圏域で開始

平成30年度実績

圏域：押立・武蔵台・住吉・紅葉丘〔11月～〕

開催回数 156回 延相談件数 445件



令和元年度（平成31年度）▶ 困りごと相談会開催実績

令和元年9月

新町圏域、片町圏域で開始

令和元年度実績

圏域：押立・武蔵台・住吉・紅葉丘・新町〔9月～〕・片町〔9月～〕

開催回数 233回 延相談件数 577件

令和2年度 ▶ 困りごと相談会開催実績

令和2年度実績

圏域：押立・武蔵台・住吉・紅葉丘・新町・片町

開催回数 214回 延相談件数 530件

※4月～6月中旬まで、感染症拡大防止のため休止

令和3年度 ▶ 困りごと相談会の今後

令和3年度より、市内全域11ヶ所での開催をします。

「困りごと相談会」各文化センターで開催中！

コーディネーターがお話を伺い、解決に向けて一緒に考えます。お気軽にお立ち寄りください。

※祝日・臨時休館日等はお休みです

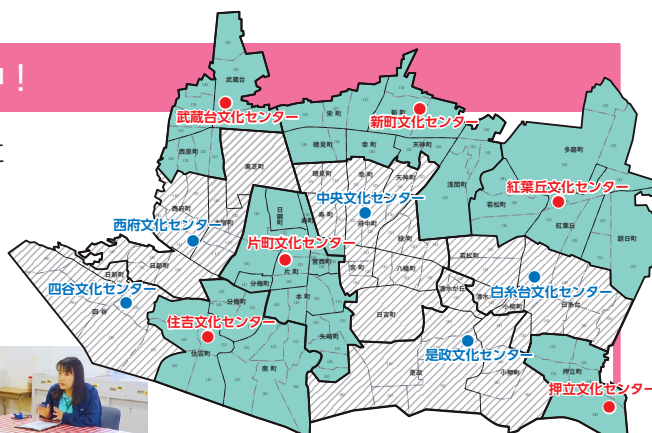
相談会の日時

月曜日	13:30～16:00	紅葉丘文化センター
火曜日	13:30～16:00	武蔵台文化センター
水曜日	9:15～11:45	新町文化センター
木曜日	9:15～11:45	片町文化センター
	13:30～16:00	押立文化センター
金曜日	9:15～11:45	住吉文化センター

相談の様子



色が塗られている圏域はすでに相談会を実施しています。斜線の圏域は令和3年度から開始する圏域です。



「困りごと相談会」からつながった例の紹介

相談の例 ①

近隣住民から「隣の庭木が伸びて、自宅敷地まで入ってきて困っている」との相談が入る

状況確認で訪問

居住者ご本人と何度か話をしながら、庭木のことなどを確認する

業者依頼をお手伝いし、木の剪定を行う

木の剪定後も、時々、状況確認で訪問

体調を崩し困ったご本人からSOS発信があり、その後福祉サービスの利用につながった

相談の例 ②

ご近所で心配な人がいるけれど、余計なお世話かもしれないので声をかけられない

「困りごと相談会のPR」という名目で、訪問

継続して訪問することにより、相談窓口として覚えてもらう

ちょっと困った時に、コーディネーターに連絡をくれるようになった



相談の例 ③

退職して時間ができたので、地域で活動してみたいが、何から始めたらいいかな？

どんな活動をしてみたいかなど、本人の意向を伺う

本人のご希望に沿った活動先をご案内

安心して活動に参加できるよう、見学に同行したり、団体への顔つなぎをする

希望に合った内容が見つかり、継続して活動することになった

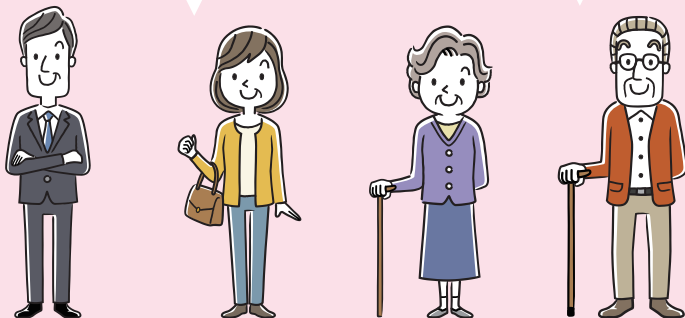
相談会の会場は、地域の皆さんが“気軽に立寄れる場所”にもなっています！

〈地域なんでも相談員〉(P18参照)
見守り活動の報告に来ました！

〈わがまちメンバー〉
今度の活動で使うチラシを持ってきたよ！

〈フードドライブ協力者〉
たくさんあって食べきれない食品があるのだけれど、活用してもらえますか？

〈相談者〉
前に相談した件の近況報告に来ました。



ご相談に来る方は、「ずっと悩んでいたから、すぐにどうにかしたい」というお気持ちの方もいれば、「話を聞いてもらうだけで、気持ちが楽になった」という方もいらっしゃいます。まずは相談者のお気持ちをじっくりお聴きし、この先どうしたいのか、どのように解決に向けて進めていくか、相談者の意向も確認しながら対応するようにしています。



地域なんでも相談員

概要説明

地域なんでも相談員とは地域のちょっとした 気になること・心配事をコーディネーターやわがまち支えあい協議会へつなぎ、解決にむけて一緒に考えていく役割です。

地域なんでも相談員に関わる活動



地域なんでも相談員養成研修

年1回開催。相談員に登録するための研修。

内容

- ①地域なんでも相談員の役割
- ②一人の困りごとから地域での支えあいを考える
- ③地域の『わがまち支えあい協議会』への参加
- ④地域なんでも相談員登録説明

※令和2年度から傾聴講座*を追加

連絡会

各わがまち支えあい協議会の取り組みの共有、テーマ学習、相談員同士の日頃の活動の共有、交流等を図ることで相談員としての活動の幅を広げるために行う連絡会です。

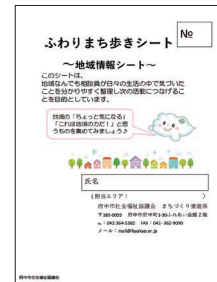
困りごと相談会

相談員は相談対応の研鑽と実践の場として、市内の文化センターで行われる相談会に参加しています。

見守り・声かけ

コーディネーターが関わる地域で孤立しがちな方を対象に相談員が定期的に見守り・声かけを行う活動です。

ふわりまち歩きシート*



平成30年度～令和2年度の経過

平成29年度末
登録者数：90名

平成30年度 ▶ 地域なんでも相談員実績

地域なんでも相談員養成研修
新規登録者：12名

平成30年度末
登録者数：99名

第1回連絡会

- 相談員としての『気付き』の視点『気付きシート』で挙げた地域課題から地域での解決方法への取り組みを考える（事例検討）
参加者：24名

第2回連絡会

- 『立場の違いによる視点の違いを理解する』グループワーク
- 相談員による見守り声かけ活動の提案
参加者：23名

令和元年度（平成31年度）▶ 地域なんでも相談員実績

地域なんでも相談員養成研修
新規登録者：14名

令和元年度末
登録者数：105名

第1回連絡会

- 『認知症サポーター養成講座』
- 相談員による見守り声かけ活動の事例報告
- 事例発表を受けて活動に活かしたいこと
参加者：19名

第2回連絡会

- わがまち支えあい協議会で取り組む『生活支援』の取り組みを知る。
申込者：46名
※感染症拡大防止のため中止

地域なんでも相談員養成研修
新規登録者：25名

令和2年度末 登録者数：127名

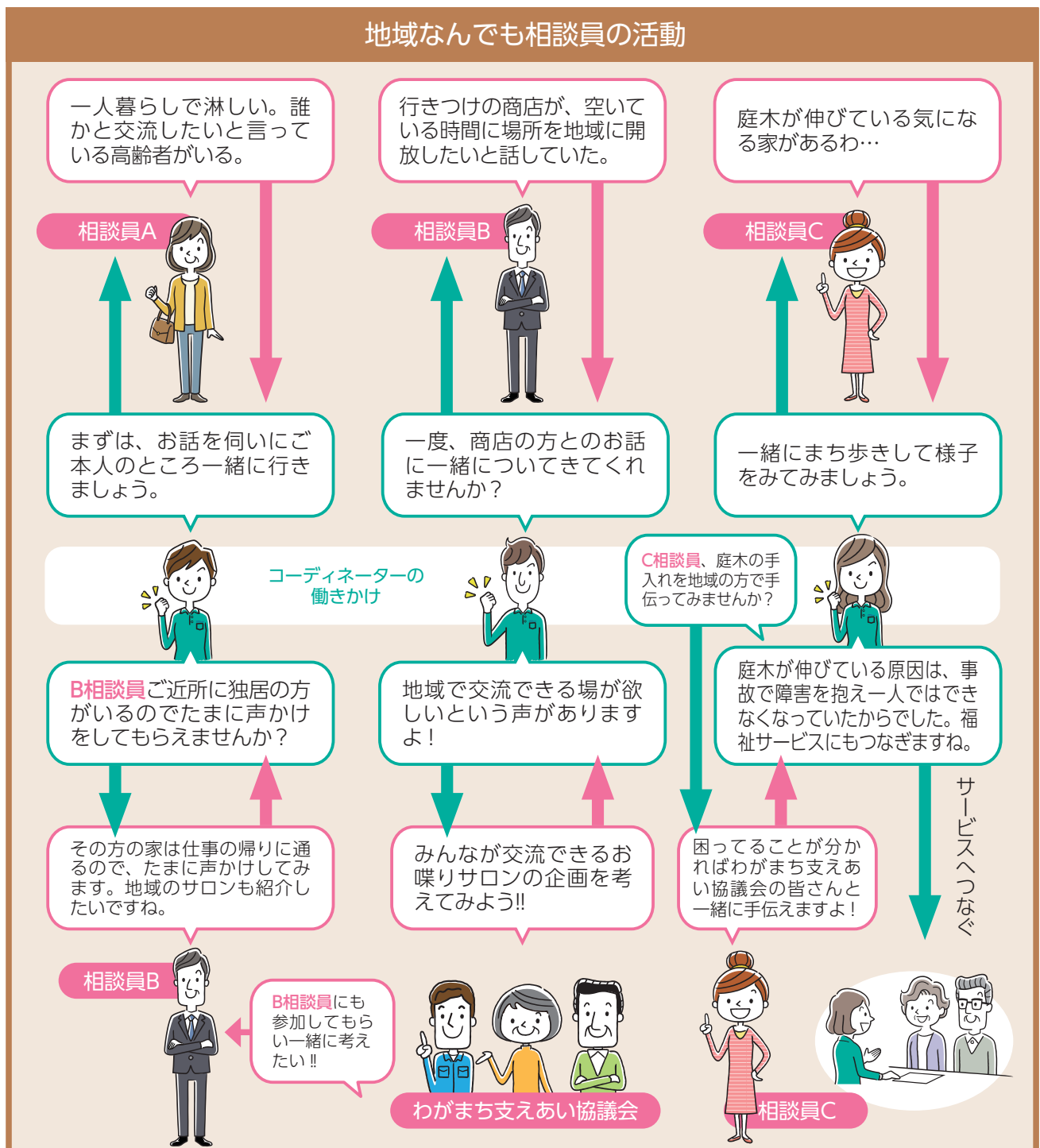
第1回連絡会 ※2回に分けて開催

- わがまち支えあい協議会とちょっとした生活支援について
 - ふわりまち歩きシートの説明、モデルケース報告
 - ふわりまち歩きシートを用いての情報交換
- 参加者：合計43名

第2回連絡会 ※2回に分けて開催

- 地域の相談窓口を知る
 - グループ懇談
- 「コロナ禍での気づき、相談員としてキャッチした情報」
参加者：合計44名

地域なんでも相談員の活動



地域のボランティア活動支援

ボランティア・協力会員入門研修とは？

「ボランティア（無償）」、「在宅福祉助け合い事業*の協力会員（有償）」として活動をはじめるとに当たり必要な基本事項を学ぶ研修会です。



コーディネーターが研修会を担当することで、ボランティアに関心のある方と直接交流しながら、身近な地域活動やその人あった活動をすぐにつなげることができます。

出張ボランティア教室

福祉教育の推進を目的に市内小中学校、自治会、諸団体を対象に福祉体験教室を出張で行うものです。市内の福祉施設から地域公益活動*の一環として、ご協力を得ながら実施しています。

教室の種類：車いす体験、ガイドヘルプ体験、高齢者疑似体験、ボランティア講話、HUG*等



コーディネーターが出張ボランティア教室を担当することで、身近なたくさんの福祉施設の関係形成や学校とのパイプづくりや福祉施設の連携強化など、地域の福祉ネットワークづくりをすることができます。

平成30年度～令和2年度の経過

平成30年度 ▶ 地域のボランティア活動支援

ボランティア・協力会員入門研修

開催回数：22回
参加者：97名

傾聴講座

平成30年9月～10月 3日間
参加者：94名

出張ボランティア教室

実施回数：88回
依頼団体：27団体 協力団体：43団体



令和元年度（平成31年度）▶ 地域のボランティア活動支援

令和元年度

ボランティア・協力会員入門研修

開催回数：22回
参加者：101名

傾聴講座

令和元年9月～10月 3日間
参加者：83名

出張ボランティア教室

実施回数：68回
依頼団体：28団体 協力団体：49団体



ボランティア・協力会員入門研修

開催回数：12回
参加者：38名

出張ボランティア教室

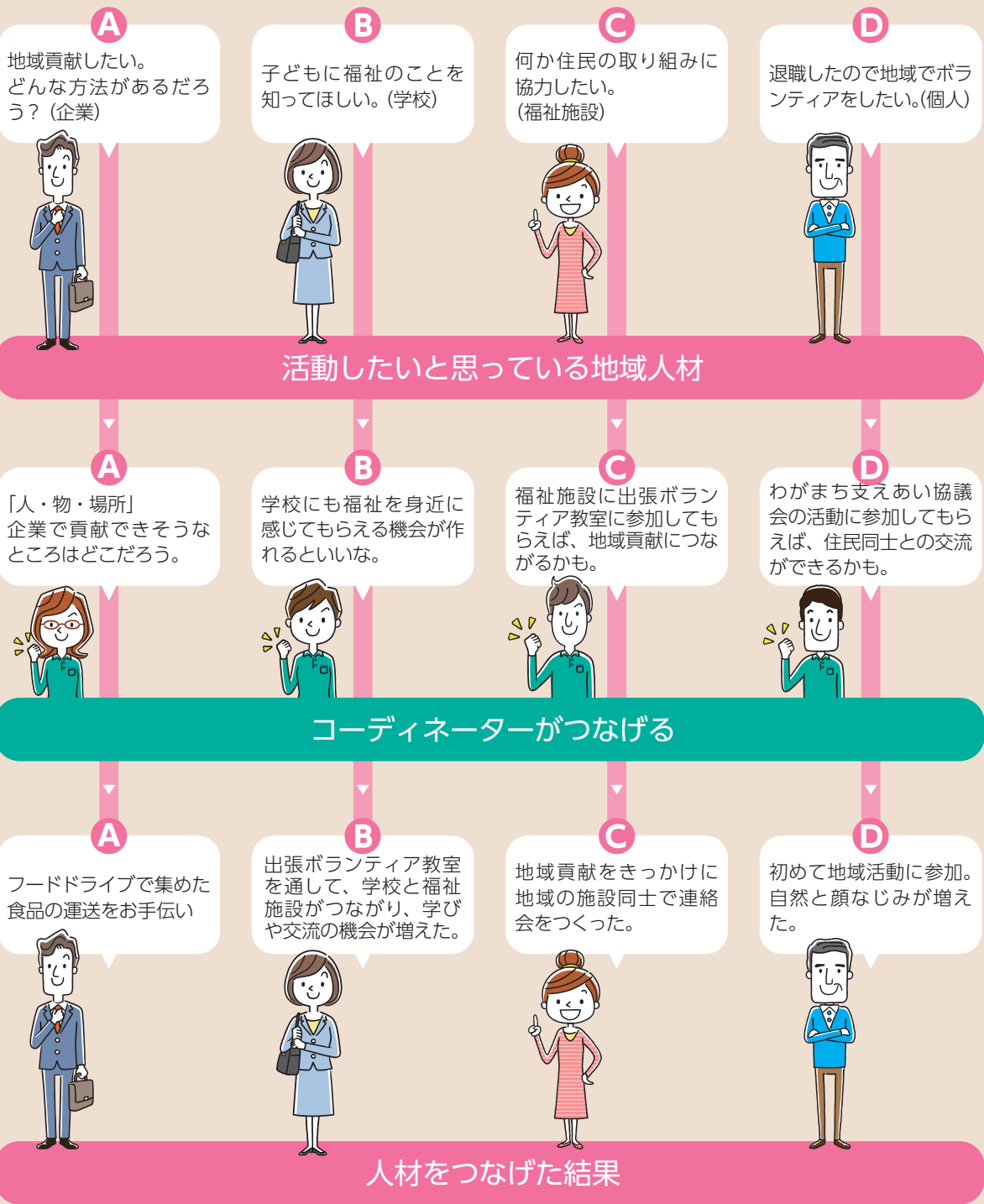
実施回数：5回
依頼団体：5団体 協力団体：2団体

傾聴講座

※地域なんでも相談員養成研修（P18参照）の中に取り込んで実施することになった。



活動したいと思っている地域人材を発掘しつなげる（事例A B C Dの流れ）



わがまち支えあい協議会

わがまち支えあい協議会とは

● 立上げを目指すに至った背景

平成26年度に小地域懇談会での話し合いや、アンケート等を実施し、地域のさまざまな困りごとがわかってきました。(右図)

その中には、公的な制度では解決が難しい困りごともありました。

誰もが安心して自分のまちで暮らすためには、こうした個人の困りごとを「我が事」として捉え、一人ひとりの困りごとに寄り添い、解決に向けたしくみづくりが必要です。

現状の地域の課題



わがまち支えあい協議会とは、住民の皆さんのより身近な生活圏域の中で、住民自らさまざまな困りごとに気づき、共有し、一緒に解決していくしくみです。

● わがまち支えあい協議会の役割

地域にある課題・心配事をキャッチする



様々な立場の人が集まり、解決に向けたアイデアを出し合う

わがまち支えあい協議会



地域でできる活動を生み出す



● 文化センター圏域ごとの立上げ支援の経過

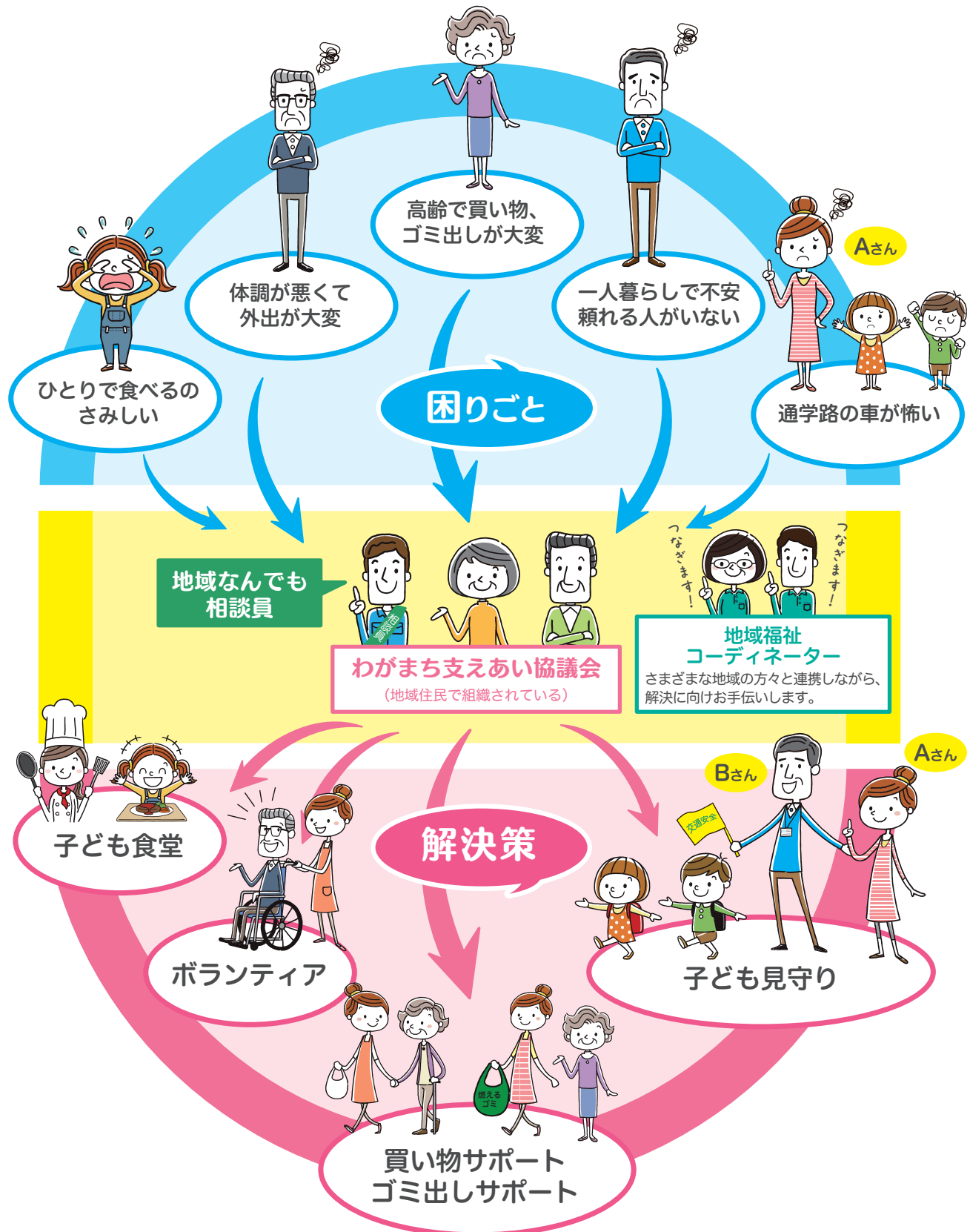
	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
押立文化センター圏域 (車返団地含む) ※モデル地区	立上げ支援	平成28年4月設立	運営支援		
四谷文化センター圏域	立上げ支援		平成30年4月設立	運営支援	
住吉文化センター圏域	立上げ支援			平成31年4月設立	運営支援
中央文化センター圏域 是政文化センター圏域	立上げ支援				中央 令和2年4月設立 是政 令和2年6月設立
その他6文化センター圏域	立上げ支援				

●わがまち支えあい協議会の経過

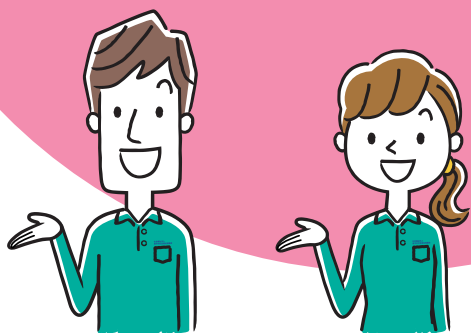
※詳細は、各わがまち支えあい協議会の報告にて（P25～）

●わがまち支えあい協議会のしくみ

より身近な生活圏域の中で、地域住民や地域の様々な団体が自らの「困りごと」に気づき、それを我が事として共有し、解決していくしくみです。



各文化センター圏域 活動紹介



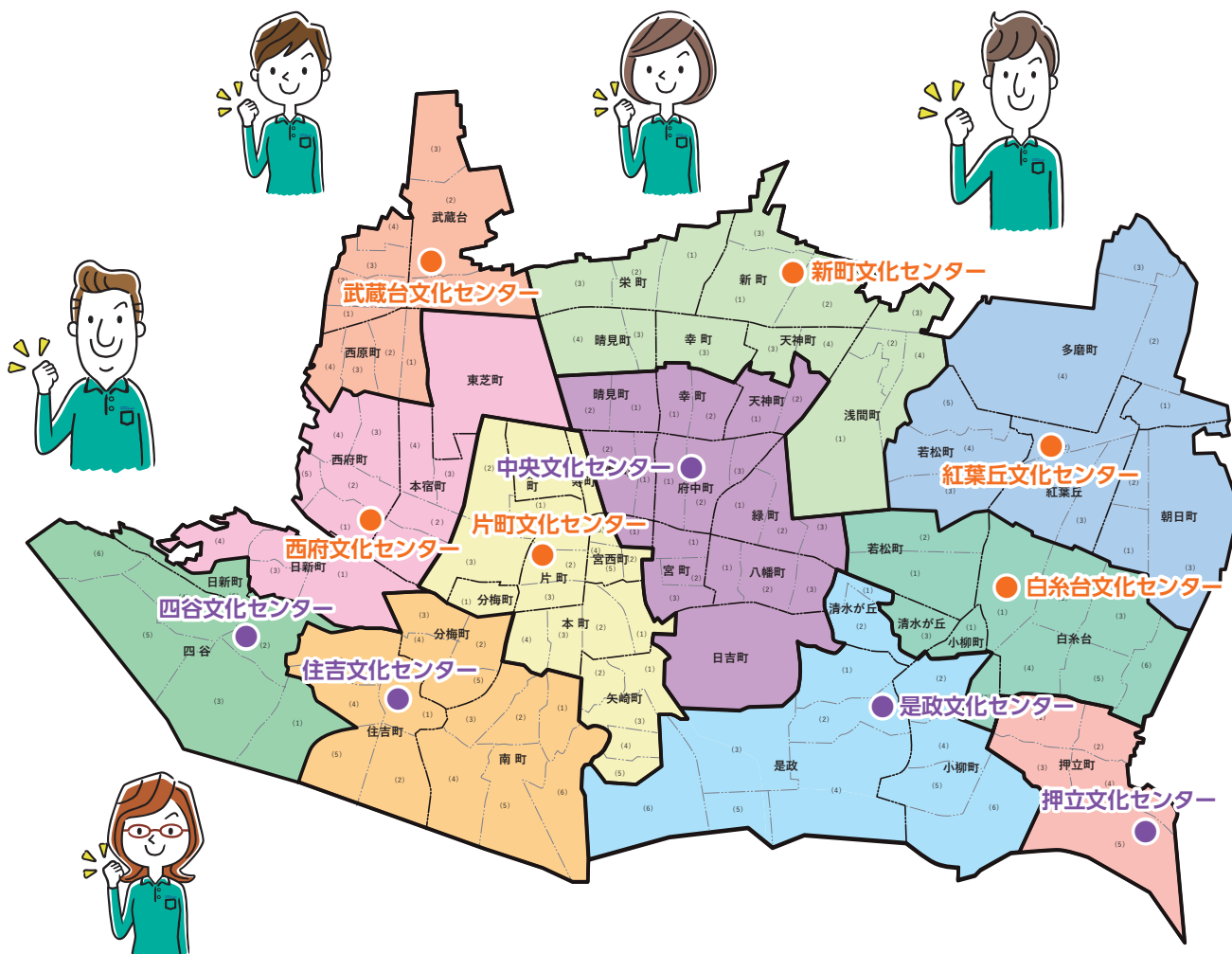
各圏域の現状と取り組み

府中市データ

面積	29.43km ²	
①人口	0～14歳	33,719人
	15～64歳	169,003人
	65歳～	57,533人
	合計	260,255人
②世帯数	127,224世帯	
③高齢化率	22.1%	
④自治会・町会・管理組合	団体数 391団体	加入率 53.9%
⑤シニアクラブ	団体数 83団体	加入率 9.9%
⑥サロンマップ掲載団体	74団体	

資料：①②③【令和3年1月1日】 令和2年度版府中市統計書
 ④【令和3年4月1日】 府中市地域コミュニティ課
 ⑤【令和3年4月1日】 府中市高齢者支援課
 ⑥【令和3年4月1日】 府中市社協わがまちサロンマップ P26～47 地域データ上記同様

圏域図



紅葉丘文化センター圏域

朝日町、多磨町、紅葉丘
若松町3～5丁目

●地域データ

人口	0～14歳	3,109人
	15～64歳	15,174人
	65歳～	4,862人
	合計	23,145人
世帯数	11,092世帯	
高齢化率	21.0%	
自治会・町会・管理組合	15団体	
シニアクラブ	3団体	
サロンマップ掲載団体	7団体	

●コーディネーターコメント

東京外国語大学やアメリカンスクールなどがあり、多国籍な方が住むエリア。多様性を受け入れる地域の雰囲気があると感じている。新たに活動に加わる方も着実に増えている。また、孤立しがちな方と様々な活動を通して、つながるきっかけを作ってきた。

具体的な活動としては、生活支援、発達障害の子をもつ親の交流の場、食べる作ることを通じた交流の場などに取り組んできた。コロナ禍の中でも、今だからこそ、地域でできることをという思いで、フードパントリーやフードドライブを始める。また、会って話す機会が少ない現在、地域から必要とされている誰でも参加できる居場所づくりを始めている。

ポスティングやチラシ配りも積極的に行い、地域に活動を広くPRしている。

これからも、「みんな知り合いウキウキワクワク、そしてありがとう」のスローガンのもと、孤立しがちな方とつながるきっかけを作り、誰もが活躍できる活動の場作りに取り組んでいく。

●この地域はこんなところ

- 静かな住宅地で暮らしやすい
 - 古い文化を大事にしている
 - 緑や木々が多く、公園など子どもが遊べる場所がある
 - 買物をできる場所が少ない
 - ペットの散歩マナーが悪い
 - 子からお年寄りまで幅広い年代や多国籍の方など多様性に富んでいる
 - のどかで穏やかな町の雰囲気
 - 食べ物屋がもう少しあると良い
 - 野川公園や武蔵野の森公園など大きな公園がある
- ※注：わがまち支えあい協議会参加者からの意見



●コーディネーター活動実績

【個別支援相談件数】

3年間の延べ相談件数：2,172件

【困りごと相談会】

開始年月：平成30年11月

3年間の延べ相談件数：229件

3年間の延べ実相談者数：90名



【出張ボランティア教室】

3年間で実施した団体名

- 若松小学校
- 東京外国語大学
- 府中第十小学校
- むさしの学園小学校

3年間で協力してくださった団体名

- 介護老人保健施設ファミリート府中
- 府中市地域包括支援センターあさひ苑
- 障害者支援施設みずき
- はなまるホーム紅葉丘
- 特別養護老人ホーム府中若松苑
- つくば観光交通
- 点訳グループふれあい
- 府中市聴覚障害者協会

【参加した地域イベント、会議等】

- 高齢者地域支援連絡会
(府中市地域包括支援センターあさひ苑、緑苑)
- グループホームはなまるホーム運営推進会議
- あさひ苑高齢者在宅サービスセンター運営推進会議
- 多磨町ネットワーク会議
- 府中市地域包括支援センター緑苑地区民生委員との情報交換会
- 紅葉丘文化センター地域まつり
- 紅葉丘文化センター地域文化祭

活動の様子



てばなすの様子



互ちそう会の様子



フードパントリーの様子

名称・スローガン

紅葉丘文化センター圏域
わがまち支えあい協議会



正式名称に変更

わがまちありすの会
～朝日・多磨・紅葉・若松～
(令和3年度設立予定)



スローガン 「みんな^し知り^あ合いウキウキワクワクそしてありがとう」

困りごと	話し合い	解決策 (活動実績は平成30年度～令和2年度の実績を記載)
買い物する所が近くになくて困っている。ちょっとした困りごとを手伝ってほしい。	➡	■平成30年度開始■ 「ゆる～い生活支援 ～ありすの手～」 買い物代行、園児の送迎、精米、など30分程度のお手伝い 1回100円 活動累計 118回 延活動者数 128名 延利用者数 118名
地域にわがまち支えあい協議会のことをPRしたい。	➡	■平成30年度開始■ ポスティングや店舗・駅前チラシ配り 活動累計 14回 延活動者数 28名
知的に障害がある方が相談できる、悩みを話せる場がない。目に見えにくい障害があることを地域に知ってほしい。	➡	■平成30年度開始■ 「てばなす ～子の発達に不安のある親の交流会～」 隔月1回、文化センター 活動累計 11回 延活動者数 62名 延参加者数 62名
一人で食べるのは味気ない。たまには誰かと食べて楽しみたい。孤立を防ぎたい。	➡	■令和元年度開始■ 「互ちそう会」 みんなで作って食べて交流 活動累計 プレ開催2回 (皮から作る餃子) 活動者含む参加者数 32名
学校の先生より「登校時に危険な横断歩道があり、保護者が交代で見ているが、毎日のことなので、お手伝いしてくれる人がいると嬉しい」との情報	➡	■令和2年度開始■ 「若松小学校登校時見守り活動」 週1回 活動累計 13回 延活動者数 26名
コロナ禍で食糧支援が必要な方がいる、食べきれなくて余っている食品を寄付したい方がいる。	➡	■令和2年度開始■ 「フードパントリー」 2ヶ月毎 活動累計 4回 延活動者数 39名 延利用者数 74名 「フードドライブ」 月2回 活動累計 12回 延活動者数 31名 延協力者数 87名 協力施設 2か所

●話し合いの実績 (定例会・臨時会)

年度	開催回数	延参加人数
平成30年度	15回	146名
令和元年度	15回	139名
令和2年度	13回	176名

話し合いの様子



白糸台文化センター圏域

小柳町1・3丁目、清水が丘3丁目
若松町1・2丁目
白糸台（車返団地を除く）

●地域データ

人口	0～14歳	3,913人
	15～64歳	20,485人
	65歳～	6,048人
	合計	30,446人
世帯数		15,392世帯
高齢化率		19.9%
自治会・町会・管理組合		15団体
シニアクラブ		8団体
サロンマップ掲載団体		10団体

●コーディネーターコメント

地域住民で地域住民を支えるために出来ることを話し合い、令和元年度に白糸台地区のアンケート実施している。地域ニーズの把握をしたものの、感染症拡大防止のため、思うような地域活動ができない期間が続く。そんな中、小学校の先生から危険な箇所の見守りについてご要望をいただき、圏域境ということもあり、紅葉丘文化センター圏域の活動者と協力しながら、見守り活動を始めることになった。活動したことにより、近隣住民に地域の課題について話し合いをして、わがまち支えあい協議会を知っていただくことができた。地域住民と顔見知りになるために地域の声を聞き、地域に必要な活動を積み上げ、住民同士のちょっとお願いしたいという声に寄り添える支援や、住民同士支えあうためのしくみについて、これからも地域住民の皆さまと一緒に考え、積み上げていきたいと思う。

●この地域はこんなところ

- みどりが多い/富士山が見える/東郷寺がある
 - 景観が保たれ街がきれい/穏やかで閑静な住宅地域/少し歩けば畑があり、静かな住宅街で穏やかに過ごせる
 - 京王線(多磨霊園駅、武蔵野台駅、飛田給駅、東府中駅)、西武線(白糸台駅)の利用もできる
 - 商店街の方が地域に優しい、協力的/便利
新鮮野菜が手に入りやすい/コンビニが多い
 - 医療機関各種施設が充実している/スポーツ施設や公園が隣接しており、運動や散歩にも適している
 - 子どもが多い
 - 災害リスクは低め
 - 活動への参加者が少ない
 - 府中市役所が遠い
 - 緊急時屋外アナウンスが聞こえづらい
- ※注：わがまち支えあい協議会参加者からの意見



●コーディネーター活動実績

【個別支援相談件数】
3年間の延べ相談件数：1,141件

【出張ボランティア教室】
3年間で実施した団体名
●白糸台小学校
●府中第四小学校

3年間で協力して下さった団体名
●特別養護老人ホームたちばなの園白糸台
●障害者支援施設みずき
●介護老人保健施設ファミリート府中
●府中市地域包括支援センターあさひ苑
●府中市地域包括支援センターしみずがおか
●点訳グループふれあい
●府中市聴覚障害者協会

【参加した地域イベント、会議等】
●高齢者地域支援連絡会
(府中市地域包括支援センターあさひ苑、緑苑、しみずがおか)
●白糸台文化センター地域まつり
●白糸台文化センター地域文化祭



活動の様子

「みんなのつどいしらいと」の様子



外から見るとこんな感じです



みんなで折り紙



体操もします



世代間交流

名称・スローガン

白糸台文化センター圏域
わがまち支えあい協議会



正式名称に変更

ささえあいの会
～白糸台・若松町・清水が丘・小柳町～
(令和3年度設立予定)

スローガン 「^{せだい}世代を越えて^こ顔見知り^{かおみし}に」



困りごと	話し合い	解決策 (活動実績は平成30年度～令和2年度の実績を記載)
地域住民のちょっとお手伝いしてほしいという活動を通じて地域とつながろう！ 通所のためのバス停まで迎えに来てほしい。車いすの操作を手伝ってほしい。	➔	■令和元年度開始■ 「ちょこっとお手伝い*」 活動累計 34回 延活動者数 38名 延参加者数 34名
わがまち支えあい協議会のことを、より多くの方に知ってもらいたい！担い手を増やしたい！	➔	■令和2年度開始■ アンケートを実施。協力者説明会を開催する予定であった。 (感染症拡大防止のため延期) 配布数 4,600部、回収数133部
学校の先生より「登校時に危険な横断歩道があり、保護者が交代で見ているが、毎日のことなので、お手伝いしてくれる人がいると嬉しい」との情報	➔	■令和2年度開始■ 「若松小学校登校時見守り活動」 週1回 活動累計 13回 延活動者数 26名

●話し合いの実績 (定例会・臨時会)

年度	開催回数	延参加人数
平成30年度	12回	115名
令和元年度	12回	138名
令和2年度	11回	173名



話し合いの様子

活動の様子



若松小学校登校時見守り活動



介護予防講座でのPR



アンケートの実施

押立文化センター圏域

押立町 車返団地（白糸台を含む）

●地域データ

人口	0～14歳	1,136人
	15～64歳	5,711人
	65歳～	2,854人
	合計	9,701人
世帯数		4,429世帯
高齢化率		29.4%
自治会・町会・管理組合		19団体
シニアクラブ		3団体
サロンマップ掲載団体		4団体

●コーディネーターコメント

わがまち支えあい協議会の立上げモデル地区として、地域の有志が集まり、平成28年度に「押立・車返ささえあい協議会（以下、「OKS」という）」を立上げ、地域の困りごとなどの声を基に、次々に新しい活動に取り組んでいる。立上げから数年たち、地域の地縁組織や学校との交流・意見交換の場、連携しながらの活動も増えており、徐々に地域の団体として認知されてきている。

圏域内は、大規模団地やマンションが多く立並ぶエリア、昔からの戸建てが多いエリア、多摩川に近く水害が心配されるエリアがあるなど、それぞれ住民の関心や、抱える課題等が異なるが、双方の状況を知り、「おたがいさま」「困った時には支えあう」ことが自然にできる地域を目指し、コーディネーターとしても、住民や団体とつながり、声を聴きながら、一緒に取り組んでいきたい。

●この地域はこんなところ

- 多摩川が近く、自然豊か。散歩しながら四季を楽しむことができ、野鳥の声にも癒される。人間の基本的な暮らしやすさがある所
 - 公園が多い
 - 競馬場、競艇場、競輪場へ自転車で20～30分ぐらいで行ける
 - 近くに桜の名所がいっぱいある
 - お正月に獅子舞がある
 - 周囲が静か
 - 交通が便利
 - スーパーなどの商店や飲食店が少ない。出前できる店が少ない
 - 喫茶店など集まって会話をする場所が無い。
 - 団地やマンションが多く、近所づきあいがしにくい
 - 人口の割にコミュニティが少ない
 - 道が狭く車のすれ違い時に危ない
 - もっと医療を充実してほしい
 - 洪水の際の避難場所などが心配
 - 夜道が暗い。人通りが少なく自転車でも怖いときがある。
- ※注：わがまち支えあい協議会参加者からの意見



●コーディネーター活動実績

【個別支援相談件数】

3年間の延べ相談件数：853件

【困りごと相談会】

開始年月：平成28年11月

3年間の延べ相談件数：374件

3年間の延べ実相談者数：127名



【出張ボランティア教室】

3年間で実施した団体名

- 南白糸台小学校

3年間で協力してくださった団体名

- 介護老人保健施設ふれあいの里
- 特別養護老人ホームたちばなの園白糸台
- 車返団地デイサービスセンター・スカイ
- 府中市地域包括支援センターあさひ苑
- 府中市地域包括支援センターしみずがおか
- 府中市立心身障害者福祉センター

【参加した地域イベント、会議等】

- 高齢者地域支援連絡会
（府中市地域包括支援センターしみずがおか）
- 車返団地コラボケアセンター運営推進委員会
- 車返団地デイサービスセンター・スカイ運営推進会議
- 自主防災連絡会
- 押立文化センター地域まつり
- 押立文化センター地域文化祭
- 押立公園まつり

活動の様子



南白糸台小学校下校見守り



ちょこっとお手伝い
（換気扇の掃除）



フードパントリー



にこにこカフェ

名称・スローガン

押立文化センター圏域
わがまち支えあい協議会



正式名称に変更

押立・車返ささえあい協議会
…略称OKS
(平成28年度より)



スローガン 「ささえ て ささえられて ^{おっけー} OK っす！」

困りごと	話し合い	解決策 (活動実績は平成30年度～令和2年度の実績を記載)
定年退職後の男性が、気軽に地域参加できるきっかけが作れないだろうか？	➡	■平成30年度開始■「男の料理教室」 男性の地域デビューのきっかけとして、男性限定の料理教室を開催 活動累計8回 延参加者数48名
学校や学童クラブ以外に、小中学生が立寄れる場所が少ない。 自習できるようなスペースがあるといい。	➡	■令和元年度開始■「地域の寺子屋」 子どもが自由に来て、宿題をするなどして過ごせる場所を実施 活動累計12回 延活動者数46名 延利用者数49名
コロナ禍で食の確保が難しい子育て世帯が増えていると聞いた。	➡	■令和2年度開始■「フードパントリー」 活動累計11回 延活動者数111名 延利用世帯数299世帯
フードパントリーをする中で、「寄付をしたい」という方がいた。また、フードロスの問題にも取り組めるといい。	➡	■令和2年度開始■「フードドライブ」 ○随時募集 延協力者数 16名 ○府中第六中学校フードドライブ活動 活動累計2回 延活動者数12名
小さい子どもがいる親御さんたちが、親子で過ごせる場所が近くにあまりない。	➡	■令和2年度開始■「あそぶすぼこ」 子ども連れで参加できる居場所 ※感染症拡大防止のため中止
平成27年度にアンケートをしてから時間がたっているため、今現在の地域のニーズを知る機会を作りたい。また、協力者も募りたい。	➡	■令和2年度■「アンケート調査」 配布数5,140部 回収数168部 活動累計4回 延活動者数21名
コロナ禍で子どもたちが楽しめる地域行事が全て中止になってしまった。	➡	■令和2年度■「謎解き地域ラリー」 子どもたちが楽しみながら地域を知ることができるイベントを、地域の自治会との連携で開催 活動累計1回 延活動者数10名 地域協力者数80名 延参加者数34名
南白糸台小学校の先生から、「信号が無く、車の交通が多い交差点があり、児童の下校が心配」という声を聞いた。	➡	■令和2年度開始■ 「南白糸台小学校下校見守り活動」 週1回 活動累計19回 延活動者数51名

●話し合いの実績 (定例会・臨時会)

年度	開催回数	延参加人数
平成30年度	12回	106名
令和元年度	12回	152名
令和2年度	12回	303名



話し合いの様子

是政文化センター圏域

是政
小柳町2丁目・4～6丁目
清水が丘1・2丁目

●地域データ

人口	0～14歳	3,063人
	15～64歳	15,317人
	65歳～	5,359人
	合計	23,739人
世帯数		11,345世帯
高齢化率		22.6%
自治会・町会・管理組合		23団体
シニアクラブ		11団体
サロンマップ掲載団体		5団体

●コーディネーターコメント

わがまち支えあい協議会の『HUG&懇談会』の活動から多摩川沿いの自治会を中心とした防災の取り組みへの参加につながり、普段からのつながりづくりを呼びかけた。今後もさまざまな機会をつくり、助け合いのしくみづくりに展開していきたい。

令和元年にリムザ管理組合役員会で「府中市社協とコーディネーターの取り組み」について説明する機会をつくったことをきっかけに、リムザシニア世代へのサポートを含め、リムザのコミュニティ活動と一緒に取り組んでいくことになり、毎月のクラブリムザ運営委員会に出席。コーディネーターが出向いての『リムザちょこっと相談会』を実施につながった。今後、リムザ住民のチームワークとフットワークの良さを活かしてわがまち支えあい協議会と連携した活動に展開していきたい。また、リムザとの連携をモデルに、エリア内のマンションネットワークづくりにも取り組みたい。

●この地域はこんなところ

- 自然豊かでとても住みやすいところ。
 - 多摩川沿いの地域のため、緑が多く、散歩していて四季折々を楽しめる。多摩川の景色を楽しむストレスの解消にしている。
 - コミュニティ、ご近所さんが仲良しでうれしいとか自治会の活動がしっかりしていて活発なところ。
 - 洪水が心配、水害の時避難所が遠くて不安に感じている。
 - カフェやレストランがなく憩いの場所がない、集える場所が公的な場所しかない、お店が少なく不便、昔かあった商店街がなくなり、買い物は徒歩だと限られる。個人商店が次々に閉まってさみしいなど、買い物などに不便を感じている。
 - 空き家や高齢者の一人暮らしが増えてきた。古くからの住民との交流はあり安心感があるが、マンションが増え、次々新しい住民が増えつながりづくりが難しいと感じている。
- ※注：わがまち支えあい協議会参加者からの意見



●コーディネーター活動実績

【個別支援相談件数】

3年間の延べ相談件数：353件

【出張ボランティア教室】

3年間で実施した団体名

- 小柳小学校
- 府中第九中学校
- 小柳町支え愛の会
- 小柳町南町会
- 是政三丁目東部町内会



3年間で協力してくださった団体名

- 府中市地域包括支援センターこれまさ
- 府中市地域包括支援センターしみずがおか
- 介護老人保健施設ふれあいの里

【参加した地域イベント、会議等】

- 小柳町支え愛の会（運営会議、エリア連絡会、研修会）
- リムザ（リムザ夏祭り、防災訓練・餅つき、クラブリムザ運営委員会）
- ひがしふちゅう駅前こども食堂
- 南府中自治会夏祭り
- 小柳町南町会盆踊り、防災マニュアル意見交換会・説明会
- 小柳小学校の災害備品を確認する会、避難所体験会打合せ
- 是政三丁目東部町内会防災研修
- 小柳町5町会交流イベント
- 是政文化センター地域まつり
- 是政文化センター地域文化祭
- 高齢者地域支援連絡会（府中市地域包括支援センターしみずがおか）

活動の様子



文化センター地域まつりへ出展



文化センター地域まつりへ出展



ひがしふちゅう駅前こども食堂



府中第八小学校登校見守り

名称・スローガン

是政文化センター圏域
わがまち支えあい協議会



正式名称に変更

わがまち支えあいの会
～小柳・是政・清水が丘エリア～
(令和2年度より)

スローガン

「住民^{じゅうみん}同士^{どうし}の助け^{たす}合い^{あい}の意識^{いしき}を広^{ひろ}める」

「今^{いま}あるサービス^{サービス}・支援^{しえん}では拾^ひいきれない課題^{かだい}に対^{たい}応^{おう}していく」

困りごと	話し合い	解決策 (活動実績は平成30年度～令和2年度の実績を記載)
わがまち支えあい協議会をもっと知ってもらいたい。地域団体や自治会とわがまち支えあい協議会がつながる機会がない。	➔	■平成30年度開始■ 「HUG&懇談会」 HUG体験から日頃からのご近所同士の顔の見える関係づくりが大切なことを知ってもらう。自治会を中心に実施。 ※令和2年度は感染症拡大防止のため休止 活動累計 3回 延活動者数 5名 延参加者数 95名
		■平成30年度開始■ 是政文化センター地域まつり(7月)文化祭(9～10月)に参加。地域団体とのつながりづくりとPR 活動累計 3回 延活動者数 50名
子ども食堂を実施する団体から「是政地区は需要が多いが、会場が見つからず実施できていない」という声を聞いた。	➔	■平成30年度開始■ 「ひがしふちゅう駅前子ども食堂」 感染症拡大防止のため令和2年度はフードパントリー 10回開催 活動累計 30回 延活動者数 1,240名 延利用者数 1,247名
地域に住むあらゆる世代の困りごとを知りたいけれど、子育て世代の声を聴く機会がない！	➔	■令和元、2年度■ 「小柳町支え愛の会」 新たな利用と活動者募集のアンケート 活動累計 2回 延配布数 1,940部 延回答数 26部
小柳町支え愛の会の4.5.6丁目のちょこっとお手伝いの担い手を募りたい。利用したいお手伝いの内容を知りたい。	➔	■令和2年度開始■ 「散歩会」 地域のつながりづくりとPR。だれでも参加できる活動。動く「あいさつし隊」(PR活動)のイメージ。 ※令和2年度は感染症拡大防止のため延期
わがまち支えあい協議会でできそうな困ったことを聞く場がない。困っていることは顔見知りにならないとなかなか話せない。	➔	■令和2年度開始■ 「散歩会」 地域のつながりづくりとPR。だれでも参加できる活動。動く「あいさつし隊」(PR活動)のイメージ。 ※令和2年度は感染症拡大防止のため延期

●話し合いの実績 (定例会・臨時会)

年度	開催回数	延参加人数
平成30年度	14回	199名
令和元年度	14回	200名
令和2年度	11回	245名

話し合いの様子



新町文化センター圏域

新町、栄町、浅間町
幸町3丁目、天神町3・4丁目
晴見町3・4丁目

●地域データ

人口	0～14歳	2,973人
	15～64歳	16,314人
	65歳～	6,669人
	合計	25,956人
世帯数		12,270世帯
高齢化率		25.7%
自治会・町会・管理組合		106団体
シニアクラブ		9団体
サロンマップ掲載団体		5団体

●コーディネーターコメント

東西への移動手段が少ない、高齢化率が高い地域特性を持つ圏域のため、わがまち支えあい協議会では、「歩いていける距離に気軽に行ける、自分たちが行きたいと思える居場所を作る」「孤立しない地域づくり」に力を入れてきた。また、必要としている高齢の方に対し、「住民同士の30分程度の「ちょこっとお手伝い」も始めている。実際の活動を通じて顔見知りになれた、声をかけ合える人が増えた、喜んでもらったなど、「ささえあいの地域」を実感される場面も多くなってきた。少しずつ定着してきているこれらの活動を、若い世代の方も含め、多くの方に周知していきたい。新たな担い手、新しい活動に繋げていくことが必要と感じている。コーディネーターとしても、より多くの団体や地域活動をされている住民の方々とながら、連携をとれるよう努力していきたい。

●この地域はこんなところ

- 府中駅、武蔵小金井駅、国分寺駅へのバスの便が良い。東八道路もあり車も便利。
- 東八道路東西に走るバス路線がなく東西の移動が不便。
- 公園が多く、緑が美しい。
- 静かで生活の不便さは感じない。
- 散歩のコースが多い。
- 大型スーパー、ドラッグストアが複数あり買い物に便利。
- 防災活動の意識が強く、消火ホースセットで初期消火できる自治会もある。
- 自治会に加入しない人も多く、避難訓練も同じ顔触れ。
- 都営住宅が多く、一人暮らしの高齢者が多い。
- 道路幅が狭く大型消防車が入れないところがある
※注：わがまち支えあい協議会参加者からの意見



●コーディネーター活動実績

【個別支援相談件数】

3年間の延べ相談件数：1,283件

【困りごと相談会】

開始年月：令和元年9月

3年間の延べ相談件数：122件

3年間の延べ実相談者数：96名



【出張ボランティア教室】

3年間で実施した団体名

- 府中第六小学校
- 府中第九小学校
- 新町小学校
- 明星高等学校

3年間で協力してくださった団体名

- 府中市地域包括支援センター安立園
- 府中市地域包括支援センターしんまち
- 府中市地域包括支援センター緑苑
- めぐみ第二保育園
- ワークショップさかえ
- 点訳グループふれあい
- 府中市聴覚障害者協会

【参加した地域イベント、会議等】

- 高齢者地域支援連絡会
(府中市地域包括支援センター安立園、しんまち、緑苑)
- 新町子どもカレー食堂
- 新町文化センター地域まつり
- 新町文化センター地域文化祭

活動の様子



木曜サロン



栄町金曜サロン



ふれあいほだほだサロン



ちょこっとお手伝い
(ハンガーラックの高さ調整)

名称・スローガン

新町文化センター圏域
わがまち支えあい協議会



正式名称に変更

新町ささえあいの会
(令和3年度設立予定)



スローガン 「^{ささ}支えあい、^{たす}助け合い、^す住みよい^{ちいき}地域を」

困りごと	話し合い	解決策 (活動実績は平成30年度～令和2年度の実績を記載)
自分が高齢になった時に近くに気軽に行ける場所がない。元気なうちから自分が行きたい居場所が欲しい。	➔	■平成30年度開始■ 「ふれあいサロンほどほど」 月1回 活動累計 10回 延活動者数 10名 延参加者数 47名
	➔	■平成30年度開始■ ※開催場所変更し開始 「木曜サロン」 週1回 活動累計 44回 延活動者数 123名 延参加者数 1,022名
孤食が増えている。子どもだけでも来られる食事できる居場所が必要	➔	■平成30年度開始■ 「新町子どもカレー食堂」 活動累計 11回 延活動者数 50名 延参加者数 662名
高齢化率が高い圏域。ちょっとしたことで困っている高齢者がいるのではないか。	➔	■令和元年度■ 住民同士のちょっとしたお手伝い「地域アンケート」 配布地域 新町・栄町 配布数 5,500部 回収数 251部
住民同士の「お互いさま」「ささえあい」のちょっとしたお手伝い活動をしたい。	➔	■令和元年度開始■ 地域住民の30分程度の「ちょこっとお手伝い」お試し活動 活動累計 33回 延活動者数 52名 延利用者数 34名
		■令和2年度■ 「ちょこっとお手伝い」協力者説明会 活動累計 2回 延活動者数 8名 延利用者数 10名 他圏域からの協力 延5名
コロナ禍でもつながれること、出来ることをしたい。	➔	■令和2年度開始■ 「新町子どもカレー食堂」(フードパントリー) 活動累計 11回 延活動者数 41名 延参加者数 242名
		■令和2年度■ コロナ禍でのサロン再開検討 ・木曜サロン 開催数5回 延活動者数61名 ・栄町金曜サロン 開催数4回 延活動者数28名

●話し合いの実績 (定例会・臨時会)

年度	開催回数	延参加人数
平成30年度	12回	118名
令和元年度	12回	151名
令和2年度	11回	178名



話し合いの様子

中央文化センター圏域

寿町1・2丁目（3丁目の一部）
幸町1・2丁目、府中町、晴見町1・2丁目
宮町、宮西町1丁目、八幡町、
緑町、日吉町、天神町1・2丁目

●地域データ

人口	0～14歳	5,821人
	15～64歳	29,150人
	65歳～	8,941人
	合計	43,912人
世帯数		22,685世帯
高齢化率		20.4%
自治会・町会・管理組合		73団体
シニアクラブ		15団体
サロンマップ掲載団体		11団体

●コーディネーターコメント

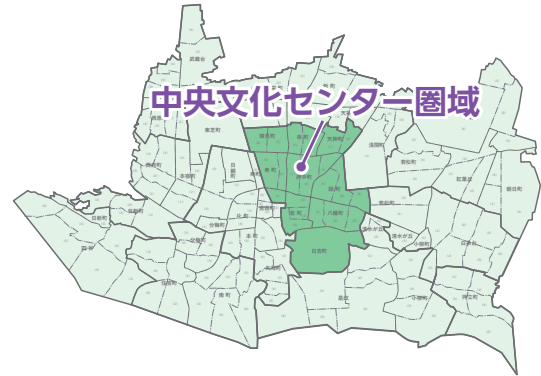
わがまち支えあい協議会の協議体は、「中央さえあいの会」として令和2年4月に立ち上がった。日中は仕事などで忙しい方も参加できるように、昼の時間だけでなく、夜の時間にも会議を開催するなど工夫した。また、夜に開催している誰でも集える居場所「よるカフェ・つながり」を通して地域の声を拾ったり、30分程度のちょっとしたお手伝い活動「ちょこっと支援」を通して、日頃から顔の見える関係作りなどに取り組んだ。

中央文化センター圏域は、府中市の中心部に位置しており、人口も約2万世帯と多い圏域。駅近くは高層マンションなどが建っており、若い世帯が住んでいたたり、一人暮らしの高齢者の方も住んでいるなど、幅広い世代の方々が混在しているのも特徴の1つ。地域の様々な機関と連携し、若い世代の方々も取り込みながら、それぞれの地域のニーズに合った活動を生み出し、地域住民同士のつながりを作っていけるよう働きかけていきたい。

●この地域はこんなところ

- 買い物について、駅近くや大通りには店があり買い物に便利。そこまで行くことが難しい高齢者等にとっては不便な所もある。
- 人間関係が希薄で近隣干渉がない所もあるが、自治会やシニアクラブ、青年会等がしっかりしている圏域もあり、転宅してきても地域に馴染みやすい雰囲気のある所もある。
- 図書館、警察署などの公共施設、映画館などの娯楽施設がある圏域。
- 主要道路の近くは騒音があるが、緑豊かな公園もあり、住宅地は静か。
- 歩道が狭く、車いすの方が通りにくい所がある。
- 府中駅や北府中駅が圏域内にあり、バスを使えば国分寺駅などにも出られて便利。

※注：わがまち支えあい協議会参加者からの意見



●コーディネーター活動実績

【個別支援相談件数】

3年間の延べ相談件数：2,183件

【出張ボランティア教室】

3年間で実施した団体名

- 府中第一小学校
- 府中第二小学校
- 府中第一中学校
- カリタス府中



3年間で協力してくださった団体名

- 府中市地域包括支援センター安立園
- 府中市地域包括支援センター緑苑
- 府中市地域包括支援センター泉苑
- 府中市地域包括支援センターかたまち
- 府中市地域包括支援センターしみずがおか
- 地域生活支援センターあけぼの
- 地域生活支援センタープラザ
- 府中さくらの杜
- SOMPOケアラヴィーレ府中
- SOMPOケア府中 福祉用具
- 府中市立心身障害者福祉センター
- 府中市聴覚障害者協会
- 点訳ボランティアてまり
- 府中視覚障害者福祉協会

【参加した地域イベント、会議等】

- 高齢者地域支援連絡会
(府中市地域包括支援センター安立園、しみずがおか、緑苑)
- 子ども家庭支援センター運営推進会議
- あなたの食堂
- 幸町2丁目誰でもやまもサロン
- 新成区自治会盆踊り
- 府中第一中学校避難所開設訓練
- 府中市地域包括支援センター緑苑地区民生委員との情報交換会
- 中央文化センター地域まつり
- 中央文化センター地域文化祭

活動の様子



ちょこっと支援
(ズボンの裾上げ)



ちょこっと支援
(額縁から絵を出す)

名称・スローガン

中央文化センター圏域
わがまち支えあい協議会



正式名称に変更

中央ささえあいの会
(令和2年度より)



スローガン 「みんなでささえあえるまちづくり
～こま困ったときはおたが互いさま・こころ心のバリアフリー～」

困りごと	話し合い	解決策 (活動実績は平成30年度～令和2年度の実績を記載)
公的サービスでは難しいような、ちょっとしたお手伝い活動をやるにあたり、地域にニーズがあるのかアンケートをしよう。	➡	■平成30年度■ 「アンケート調査」 ちよこっと支援を検討するにあたり、そもそも必要とされている活動なのかアンケートを実施 実施エリア：晴見町1・2丁目、幸町1・2丁目(幸町3丁目一部) 配布数：3,944部(1世帯に1部) 回収数：189部
アンケート結果をもとに、ちょっとしたお手伝い活動を検討。	➡	■平成30年度開始■ 「ちよこっと支援」 電球交換やゴミ出しなどの30分程度のちょっとしたお手伝い活動 活動累計 99回(感染症拡大防止のため中止2回) 延活動者数 109名 延利用者数 101名
障害があってもなくても、子どもも大人も、どなたでも集える居場所がほしい。日中は仕事等で忙しい方も参加できるよう、夜に開催してはどうか。	➡	■平成30年度開始■ 「よるカフェ・つながり」 どなたでも集える居場所、地域の声を拾う場。日中は忙しい方なども来られるように夜に開催 活動累計 7回(感染症拡大防止のため中止2回) 延活動者数 57名 延参加者数 56名
会のことを、より多くの方に知ってもらいたい。担い手を増やしたい。	➡	■令和2年度■ 「PR活動」福祉まつりでPRブース出展→感染症拡大防止のため中止 スーパーの前で声をかけながらチラシを配布→感染症拡大防止のため中止

●話し合いの実績 (定例会・臨時会)

年度	開催回数	延参加人数
平成30年度	24回	207名
令和元年度	26回	244名
令和2年度	10回	167名



話し合いの様子

活動の様子



ちよこっと支援 (電球交換)



よるカフェ・つながり
(憩いの場になっています)



よるカフェ・つながり
(地域の声を拾う「ささえあいボード」)

片町文化センター圏域

片町、日鋼町、寿町3丁目(一部を除く)
分梅町1丁目、本町、宮西町2～5丁目
美好町(3丁目の一部を除く)、矢崎町

●地域データ

人口	0～14歳	3,485人
	15～64歳	19,410人
	65歳～	6,055人
	合計	28,950人
世帯数		15,261世帯
高齢化率		20.9%
自治会・町会・管理組合		50団体
シニアクラブ		14団体
サロンマップ掲載団体		9団体

●コーディネーターコメント

自治会や自主グループ、サロン活動などコミュニティ活動が盛んな地域である。わがまち支えあい協議会では、地域住民や団体と顔の見える関係づくりを行うことを目標に、平成30年度にはPR活動として地域懇談会を開催した。圏域内の公共施設や公会堂3か所の会場をまわる片文ささえ愛キャラバンとして、身近なつながりをつくり、子どもを中心とした多世代交流を目指した。令和元年度には懇談会から居場所づくりに発展させ、保育園からの会場提供を受け、サロン活動をスタートさせた。また住民アンケートから生活支援の取り組みを始めている。人とつながるきっかけとして食を通じた活動、孤食解消のため新たなサロン開催を施設協力を得て企画するもコロナ禍となり中止となったが、フードドライブの実施や地域での周知活動やニーズ把握など、地道な活動を通じて顔の見えるつながりづくり、孤立しない地域づくりを目指していきたい。

●この地域はこんなところ

- 交通が便利
- 公共の施設が近くて便利
- 緑も多く、四季折々自然豊かな街
- 自治会、シニアクラブなどの活動が活発
- 古くからの近所付き合いが残っているが集合住宅が増えたり、世代交代などがあつたりでコミュニケーションがとりづらい面もある
- 歴史のあるまち
- 分倍河原駅周辺は歩道が狭く、南北の行き来が不便
- 子どもの遊ぶ場所やサロンができるような広い場所がある

※注：わがまち支えあい協議会参加者からの意見



●コーディネーター活動実績

【個別支援相談件数】

3年間の延べ相談件数：1,062件

【困りごと相談会】

開始年月：令和元年9月

3年間の延べ相談件数：108件

3年間の延べ実相談者数：74名



【出張ボランティア教室】

3年間で実施した団体名

- 府中第三小学校
- 日本聖公会聖マルコ教会
- 府中第三中学校

3年間で協力してくださった団体名

- 府中市地域包括支援センターかたまち
- ティー・オー・ピー府中店
- 光明府中南保育園
- 光明高倉保育園
- 点訳グループふれあい
- 府中市聴覚障害者協会
- 府中視覚障害者福祉協会

【参加した地域イベント、会議等】

- 高齢者地域支援連絡会
(府中市地域包括支援センター泉苑、かたまち)
- 片町文化センター地域まつり
- 片町文化センター地域文化祭

活動の様子



ちょこっとお手伝い
(粗大ゴミ搬出)



ささえ愛ぽかぽかサロン
(保育園での開催)



協力者説明会



片文ささえ愛キャラバン

名称・スローガン

片町文化センター圏域
わがまち支えあい協議会



かたまち支えあいの会
(令和3年度設立予定)



スローガン 「^{ち いきじゅうみん だんたい かお み かんけい}地域住民や団体と顔の見える関係づくり」

困りごと	話し合い	解決策 (活動実績は平成30年度～令和2年度の実績を記載)
わがまち支えあい協議会をもっと周知して仲間を増やしたい。 地域で何が必要とされているか知りたい。	➡	■平成30年度■ 地域懇談会「片文ささえ愛キャラバン」 活動累計 3回 延活動者数 24名 延参加者数 40名
	➡	■令和元年度■ 「住民アンケート」の実施 配布数 4,750部 回収数 151部
	➡	■令和2年度■ ちょこっとお手伝い協力者説明会 活動累計 2回 延活動者数 10名 延参加者数 20名 延協力者 4名
	➡	■令和2年度開始■ 「ちょこっとお手伝い」(生活支援) 活動累計 11回 延活動者数 14名 延利用者数 11名
地域で居場所を作りたい。顔の見える関係づくりをしたい。 子どもを中心とした多世代交流をしたい。	➡	■令和元年度■ 「ささえ愛ぽかぽかサロン」 奇数月に1回 活動累計 5回 (感染症拡大防止のため中止6回) 延活動者数 44名 延参加者数 63名
地域の居場所を増やしたい。 孤食を解消したい。	➡	■令和元年度■ 「だんらんサロン」 感染症拡大防止のため中止 1回
活動を知ってもらいたい。コロナ禍でもできることはないか。 新たな人とつながりたい。	➡	■令和2年度開始■ 「フードドライブ」 協力者 3名 協力施設 1件
	➡	■令和2年度開始■ 「PR活動」 活動累計2回 (感染症拡大防止のため中止1回) 延活動者数 12名

●話し合いの実績 (定例会・臨時会)

年度	開催回数	延参加人数
平成30年度	12回	158名
令和元年度	12回	125名
令和2年度	11回	142名



武蔵台
北山町
西原町

●地域データ

人口	0～14歳	1,625人
	15～64歳	8,774人
	65歳～	4,031人
	合計	14,430人
世帯数		7,111世帯
高齢化率		27.9%
自治会・町会・管理組合		41団体
シニアクラブ		3団体
サロンマップ掲載団体		6団体

●コーディネーターコメント

「いざという時のために、顔見知りになろう！」をスローガンに、居場所づくり、ちょこっとお手伝い、フードパントリーと着実に活動を広げてきた。最初は同じ文化センター圏域内でも「自治会活動が活発なところとそうでないところの差が大きい」「地理的に(高低差があり)まとまりにくい」といった声が多かったが、活動をする中で「地域差はあっても、まだ顔見知りになっていない人とつながることが必要」と、思いがひとつになってきている。ちょこっとお手伝いのアンケートを通じ、地域には「協力したい」という思いを持つ方が多くいることも把握できた。活動の周知を図りながら、実際に活動してくれる住民を増やし、わがまち支えあい協議会の活動のすそ野を広げていきたい。

●この地域はこんなところ

- 緑が多く、空気がきれい。
- コロナ禍でも出来ることからやっつけよう前向き。
- 西原町はスーパーが増えて、買い物が便利。
- 医療機関が多くて、安心。
- 中心地から離れているので、落ち着いてまったりしている(大人も子どもも)。
- 人が優しい。
- 交通の便が悪い。
- 空き家が多い。
- 道が狭く、すれ違いが大変。
- 高齢者は買い物不便。
- 自治会の未加入、脱退が増えている(高齢世帯が増えたため)。
- 孤立している人が多い。

※注：わがまち支えあい協議会参加者からの意見



●コーディネーター活動実績

【個別支援相談件数】
3年間の延べ相談件数：2,031件

【困りごと相談会】
開始年月：平成28年11月
3年間の延べ相談件数：338件
3年間の延べ実相談者数：73名



【出張ボランティア教室】
3年間で実施した団体名
●府中第七小学校
●武蔵台小学校
●府中第七中学校

3年間で協力してくださった団体名
●府中市地域包括支援センター泉苑
●子ども家庭支援センターしらとり
●点訳グループふれあい
●府中市聴覚障害者協会

【参加した地域イベント、会議等】
●子ども家庭支援センターしらとり運営推進会議
●泉苑ケアマネサロン
●小規模多機能居宅介護ケアホームこまつ運営推進会議
●武蔵台文化センター地域まつり
●武蔵台文化センター地域文化祭
●高齢者地域支援連絡会（府中市地域包括支援センター泉苑）

活動の様子



フードパントリー



フードパントリー

名称・スローガン

武蔵台文化センター圏域
わがまち支えあい協議会



正式名称に変更

武蔵台・北山・西原
ささえあいの会
(令和3年度設立予定)



スローガン 「いざという時のために顔見知りの輪を広げよう！」

困りごと	話し合い	解決策 (活動実績は平成30年度～令和2年度の実績を記載)
顔見知りの輪を広げたいけれど、地域に集まる場がない。	➔	■平成30年度開始■ 北山町に続き、武蔵台でも「みんなのひろば」を開始 隔月1回 活動累計 8回 延活動者数 46名 延参加者数 155名
	➔	■令和2年度開始■ 「お便り配布」活動累計 1回 延配布数 38通
困りごとの把握と会のPRをしたい。	➔	■令和元年度開始■ 「地域アンケート」 配布数 6,000部 回収数 258部
地域の活動に出てこない・出てこれない人ともつながりたい。見守りの体制を作りたい。	➔	■令和2年度開始■ 「ちょこっとお手伝い」 活動累計 57回 延活動者数 68名 延利用者数 59名
個人で行っていたフードパントリーを、わがまち支えあい協議会で行なってほしい。	➔	■令和2年度開始■ 「フードパントリー」 活動累計 1回 延活動者数 9名 延利用者数 14世帯

●話し合いの実績 (定例会・臨時会)

年度	開催回数	延参加人数
平成30年度	12回	144名
令和元年度	12回	153名
令和2年度	11回	170名



話し合いの様子

活動の様子



ちょこっとお手伝い



ちょこっとお手伝い



みんなのひろば

東芝町、西府町、日新町（1～4丁目）
本宿町、美好町（3丁目の一部）

●地域データ

人口	0～14歳	2,755人
	15～64歳	12,684人
	65歳～	3,423人
	合計	18,862人
世帯数		8,643世帯
高齢化率		18.1%
自治会・町会・管理組合		15団体
シニアクラブ		5団体
サロンマップ掲載団体		8団体

●コーディネーターコメント

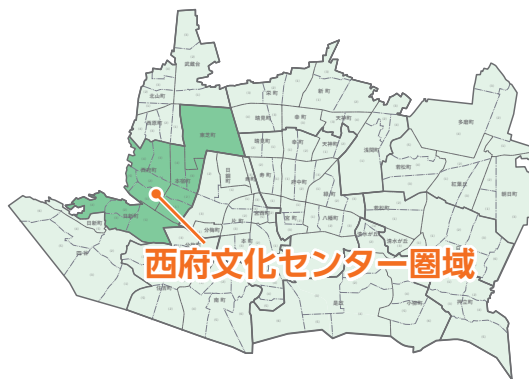
わがまち支えあい協議会では「①地域のつながりをつくらう！、②いつでも声をかけあえる・支えあえる地域に！」をスローガンに、困りごとに対して解決するような活動が始まってきている。自分の地域について関心を持つ方々を少しずつでも増やしていき、人と人、団体と団体同士もつながるような地域をより目指したい。

西府文化センター圏域では、自治会ごとに盆踊り（夏祭り）が活発に行われている。自治会長がお互いに地域のお祭りに参加しあっていることから自治会同士の横のつながりもできていると感じた。また、一つの自治会の役員会で府中市社協と自治会の関わりについて懇談する機会をいただき、これまでよりお互いの関係が見えるようになったのはとても大きく貴重な機会となった。

本宿小学校より毎年出張ボランティア教室の依頼をいただき、令和元年度には「福祉祭り」を児童が発案し開催した。自発的に福祉について考えてもらうことができ嬉しかった。

●この地域はこんなところ

- 文化的・歴史的なものが残っている
 - 生まれ育った人が多く、近所とのつながりが強い
 - 人としてあたたかい
 - 緑も豊富で地域を大切にしている人が多い
 - 若い人や子どもが増えている
 - 閑静で治安がよい
 - ちょっと休憩できる場所が少ない
 - マンションが増えたが、住民同士の顔が見えづらく交流が少ない
 - 町内のお祭りを盛り上げてほしい
 - バスの本数が少なくて不便
 - 日常的にちょっとでも顔を出せる場があるとよい
- ※注：わがまち支えあい協議会参加者からの意見



●コーディネーター活動実績

【個別支援相談件数】

3年間の延べ相談件数：1,447件

【出張ボランティア教室】

3年間で実施した団体名

- 本宿小学校

3年間で協力してくださった団体名

- 府中市地域包括支援センターにしふ
- 特別養護老人ホーム鳳仙寮
- 西府いこいプラザ
- 西府こどもの家
- 府中エンゼルホーム
- リブリエンゼル府中
- 府中視覚障害者福祉協会
- 点訳グループふれあい

【参加した地域イベント、会議等】

- 高齢者地域支援連絡会
（府中市地域包括支援センターにしふ、よつや苑）
- 本宿町4丁目自治会寒梅の集い
- 本宿町3丁目自治会盆踊り
- 日新町自治会盆踊り
- エフユニバース府中の杜夏祭り
- 西府町団地自治会納涼祭
- 本宿町4丁目自治会寒梅の集い
- 本宿町4丁目自治会役員会事業説明
- フリーサロン西府三丁目
- えんがわサロン
- 日新町西自治会バーベキュー大会
- 第五学童クラブとの打合せ
- 本宿学童クラブとの打合せ
- 西府文化センター地域まつり
- 西府文化センター地域文化祭



活動の様子



わがまちサロンにしふらっと！



わがまちサロンにしふらっと！
（令和2年度）
感染症拡大防止のため、場所を変えて開催しました。

名称・スローガン

西府文化センター圏域
わがまち支えあい協議会



正式名称に変更

にしふエリアささえ愛の会
(令和3年度設立予定)



スローガン 「地域のつながりをつくろう！」
「いつでも声をかけあえる・支えあえる地域にしよう！」

困りごと	話し合い	解決策 (活動実績は平成30年度～令和2年度の実績を記載)
サロンを開催する中で、「普段からの話し相手がほしい」「サロンに行くまで付き添ってほしい」という声をキャッチする。	➔	<p>■令和元年度■ 「地域アンケート」 配布エリア 本宿町、西府町 配布数 4,500部 回収数 187部</p> <p>■令和元年度開始■ 「ちょこっとお手伝い」を試行的に開始 活動累計 16回(感染症拡大防止のため中止3回) 延活動者数 29名 延参加者数 16名</p>
活動を始めるためにも担い手が必要	➔	<p>■令和元年度■ 「ちょこっとお手伝い協力者の説明会」 開催累計 2回 延活動者数 21名 延参加者数 29名</p>
児童が事故にあわないように見守りをしたいが、児童の見守りをするボランティアが減っている。	➔	<p>■令和2年度開始■ 「学童クラブからの帰宅同行」 活動累計 16回 延活動者数 34名</p>

●話し合いの実績 (定例会・臨時会)

年度	開催回数	延参加人数
平成30年度	12回	146名
令和元年度	16回	193名
令和2年度	13回	221名



活動の様子



ちょこっとお手伝い (草取り)



ちょこっとお手伝い (電球交換)



ちょこっとお手伝い協力者説明会

住吉文化センター圏域

住吉町、南町
分梅町2～5丁目

●地域データ

人口	0～14歳	3,583人
	15～64歳	16,915人
	65歳～	6,270人
	合計	26,768人
世帯数		12,871世帯
高齢化率		23.4%
自治会・町会・管理組合		24団体
シニアクラブ		9団体
サロンマップ掲載団体		7団体

●コーディネーターコメント

わがまち支えあい協議会では「だれでもふらっとサロン」や「おかえり広場」など活動を積み重ねる中で徐々に参加者や担い手が増え、地域に浸透してきている。おかえり広場は学童クラブの延長に伴い令和2年度末で終了。ニーズ発掘のため圏域の小学校と連携しアンケート調査を実施。結果を踏まえ、現在は、地域の子どもの孤立防止のための新たな居場所を検討している。また、令和元年からは個別の困りごとに焦点を当てた「ちょこっとお手伝い」の取り組みもはじめ、お試しを繰り返しながらルールを検討している。会としては、毎年、文化センターの地域まつりや福祉センターまつりに出店し地域へのPRを行い、地域の団体と横のつながりづくりを力を入れ取り組んでいる。

この地域ではサロン活動が活発に行われているため各サロンに出向き運営支援やHUG等の教室を実施。活動と関わりもちながら、府中市社協のPR協力や個別ケースの受け皿としても協力してもらっている。

●この地域はこんなところ

- 高齢者が多い印象がある
- 小、中学生がとても明るく元気
- 駅前に大型スーパーがあって便利
- 多摩川付近なので、台風19号の時の際とても怖かった。普段から対応を考えておく必要がある。
- 空き家が多い。草が電線まで伸びているところもある
- 障害から高齢まで多種福祉施設が多く充実している感じがする。
- 南町の団地から駅まで遠く買い物が大変。
- 新しく引っ越してきた方と繋がる機会が少ない。若い方との交流が少ない。
- 自治会役員の担い手が少ない

※注：わがまち支えあい協議会参加者からの意見



●コーディネーター活動実績

【個別支援相談件数】

3年間の延べ相談件数：1,886件

【困りごと相談会】

開始年月：平成29年11月

3年間の延べ相談件数：381件

3年間の延べ実相談者数：138件



【出張ボランティア教室】

3年間で実施した団体名

- 南町小学校
- 住吉小学校
- みんなのサロン

3年間で協力してくださった団体名

- 府中市地域包括支援センターみなみ町
- 集いの家
- わたしの家府中
- グループホームみち
- そんぽの家S府中南町
- 作業所スクラム
- 介護センターはんの木
- 心身障害者福祉センター
- 府中市地域包括支援センターよつや苑
- プロジェクトツツけやきのもり
- 生活リハビリデイセンター アビリティーズ府中南
- 点訳ボランティアてまり

【参加した地域イベント、会議等】

- 南町中島通り自治会 ラジオ体操
- 井戸端サロン
- みんなのサロン
- 多職種事例検討会
(府中市地域包括支援センターみなみ町主催)
- 住吉文化センターエリア
[地域における公益的な取組に関する懇談会]
- 住吉文化センター地域まつり
- 住吉文化センター地域文化祭
- 高齢者地域支援連絡会
(府中市地域包括支援センターみなみ町、よつや苑)

活動の様子



立上げ報告会



おかえり広場

名称・スローガン

住吉文化センター圏域
わがまち支えあい協議会



正式名称に変更

住吉・分梅・南町
ささえあい協議会
(令和元年度より)



スローガン 「1人^{ひとり}ぼっち^{つく}を作らない、笑顔^{えがお}があふれる地域^{ちいき}をつくる」

困りごと	話し合い	解決策 (活動実績は平成30年度～令和2年度の実績を記載)
ちょっと困っている人がいるなら手伝ってあげるのがこの会。	➡	<p>■令和元年度開始■ 「ちょこっとお手伝い」のお試しを開始 活動累計 32回 延活動者数 62名 延参加者数 32名</p>
子どものニーズを改めて調査したい。	➡	<p>■令和2年度■ 2つの小学校でアンケート実施 住吉小学校 配布数：430部 回収数：336部 南町小学校 配布数：370部 回収数：252部</p>
南町にもおかえり広場を必要としている子がいるはず。	➡	<p>■令和2年度開始■ 「おかえり広場南町」 活動累計 19回 延活動者数 86名 延参加者数 50名</p>
地域の新たな担い手を集めたい。生活支援のニーズを探りたい。	➡	<p>■令和元年度■ 地域アンケート実施 配布数：5,500部 回収数：180部</p>

●話し合いの実績 (定例会・臨時会)

年度	開催回数	延参加人数
平成30年度	17回	212名
令和元年度	13回	181名
令和2年度	12回	211名



活動の様子



だれでもふらっとサロン



住吉文化センター地域まつりに出展



ちょこっとお手伝い (草取り)

四谷
日新町5丁目

●地域データ

人口	0～14歳	2,256人
	15～64歳	9,069人
	65歳～	3,021人
	合計	14,346人
世帯数		6,125世帯
高齢化率		21.1%
自治会・町会・管理組合		10団体
シニアクラブ		3団体
サロンマップ掲載団体		2団体

●コーディネーターコメント

わがまち支えあい協議会の取り組みとして「菜々のつどい」では、ご近助会の協力を得ながら定期的にサロンを開催。コロナ禍で活動中止を余儀なくされたが、代わりに「ささえあい四谷だより」を配布し、参加者等とつながりを切らさない工夫をしている。また、学童クラブ延長に伴い自治会館での見守りに代わる新たな活動として、学校でのニーズ調査を経て「子ども体験ボランティア」を検討中。また、新たな試みとして、フードドライブ、フードパントリーにも取り組み始め、そこから担い手が増えつつある。アンケートでつながった保護者や企業も地域貢献として活動に加わるなど広がりを見せている。協議体としては自治会やシニアクラブとの連携強化に向け挨拶回り、活動報告等のPRを実施。個々とのつながりと地域の団体とのつながり、双方を視野に入れて活動している。地域では、多摩川が近いこともあり自主防災の取り組みが活発に行われている。防災訓練等に参加しHUGなどを行うことで地域力の増進に協力している。

●この地域はこんなところ

- 若い家族が増えて、町が若返ってきた。
- 子どもが増えてきた。
- 隣近所のつながりが強い。
- どんど焼きなどの伝統が引き継がれている。
- シニアクラブが積極的な活動をしている。
- 空き家が増えている。
- 古い地域と新しい転入者とのつながりが薄すぎる。
- 一人暮らし老人の増加
- 高齢者世帯が多くなってきた。
- 自治会への転入者加入率がかなり低いと思われる。

※注：わがまち支えあい協議会参加者からの意見



●コーディネーター活動実績

【個別支援相談件数】

3年間の延べ相談件数：288件

【出張ボランティア教室】

3年間で実施した団体名

- 四谷小学校
- 日新小学校

3年間で協力してくださった団体名

- 府中市地域包括支援センターよつや苑
- 居宅介護支援センターよつや苑
- 地域密着型複合施設よつや正吉苑
- 介護老人保健施設ウイング
- フローレンスケア聖蹟桜ヶ丘
- デイサービスりんりん
- 総合在宅支援センターいびき
- グループホームみんなの家府中
- 点訳ボランティアてまり
- 府中市聴覚障害者協会
- 府中視覚障害者福祉協会

【参加した地域イベント、会議等】

- 府中第八中学校防災訓練
- よつやご近助会連絡会
- 四谷文化センター圏域自主防災連絡会総会
- にっころ食堂
- 小規模多機能居宅介護よつや正吉苑運営推進会議
- マッピングパーティー
- えんがわサロン
- 日新町西自治会バーベキュー大会
- 徒歩で行く我が家の避難訓練（四谷）
- 四谷文化センター地域まつり
- 四谷文化センター地域文化祭
- 高齢者地域支援連絡会
(府中市地域包括支援センターよつや苑)



活動の様子



ゆうやけ四谷



フリーマーケット

名称・スローガン

四谷文化センター圏域
わがまち支えあい協議会



正式名称に変更

ささえあい四谷
(平成30年度より)

スローガン 「^{こうれいしゃ}高齢者から^こ子どもまで、^{ちいき}地域で^{こりつ}孤立した^{ひと}人をつく^{つく}らない」
「^{ちいき}地域で^{いろいろ}色々な^{かつどう}活動をしている^{こじん}個人・^{だんたい}団体とつながるようにする」

困りごと	話し合い	解決策 (活動実績は平成30年度～令和2年度の実績を記載)
「ささえあい四谷」を地域の方々に知ってもらい、参加者を増やしたい。	➡	■平成30年度開始■ 年1回(2日間)、ご近助会の協力を得ながらフリーマーケット開催。 活動累計 4日間 延活動者数 32名 延参加者数 150名
	➡	■令和元年度■ 地域アンケート実施 配布数：5,300部 回収数：56部
	➡	■令和元年度開始■ 地域の団体等へのPR 活動累計 4回 延活動者数 15名
菜々のつどいができなくても参加者の方とつながっておきたい。	➡	■令和2年度開始■ お便り配布 月1回 活動累計 7回 延活動者数 14名 延配布数 401通
子どものニーズを改めて調査したい。	➡	■令和2年度■ 2つの小学校でアンケート実施 日新小学校：配布数410部／回収数313部 四谷小学校：配布数520部／回収数365部
コロナ禍でも出来る活動をしたい。困っている人に手を伸ばしたい。	➡	■令和2年度開始■ 「フードドライブ」 活動累計 5回 延活動者数 32名 延協力者数 81名

●話し合いの実績 (定例会・臨時会)

年度	開催回数	延参加人数
平成30年度	11回	147名
令和元年度	12回	126名
令和2年度	11回	145名



話し合いの様子

活動の様子



菜々のつどい

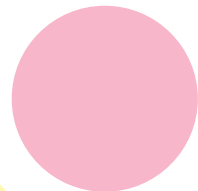
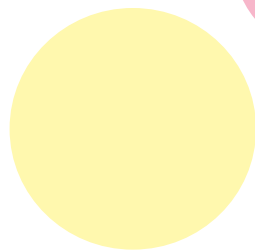
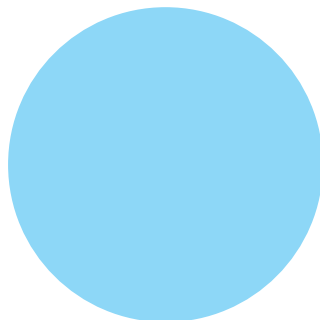


フードドライブ



ささえあい四谷だよりの配布

資料編



わがまち支えあい協議会開催状況

開催回数 634 回（定例会、臨時会、役員会、各種会議） 参加者 延べ6,496 人

実施圏域	回数 / 参加者数	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
紅葉丘文化センター	開催回数	15	15	13
	延べ参加者数	146	139	176
白糸台文化センター	開催回数	12	12	11
	延べ参加者数	115	138	173
押立文化センター	開催回数	75	39	29
	延べ参加者数	344	263	370
是政文化センター	開催回数	14	14	23
	延べ参加者数	199	200	325
新町文化センター	開催回数	12	12	20
	延べ参加者数	118	151	267
中央文化センター	開催回数	29	26	15
	延べ参加者数	234	244	190
片町文化センター	開催回数	12	12	12
	延べ参加者数	158	125	151
武蔵台文化センター	開催回数	12	12	12
	延べ相談件数	144	153	178
西府文化センター	開催回数	12	16	17
	延べ参加者数	146	193	251
住吉文化センター	開催回数	17	14	24
	延べ参加者数	212	185	253
四谷文化センター	開催回数	23	25	28
	延べ参加者数	188	162	205
合計	開催回数	233	197	204
	延べ参加者数	2,004	1,953	2,539

わがまち支えあい協議会による地域活動

※感染症拡大防止のため中止の活動あり。
緊急事態宣言の期間は令和2年4月7日～5月5日、
令和3年1月7日～3月21日

実施圏域	内容	回数 / 参加者数 / 活動者	平成30年度	令和元年度	令和2年度
紅葉丘文化センター	地域まつり出展	回数	1	1	中止
		活動者	10	10	
	若杉会班長会との打合せ (不定期開催)	回数	1	0	0
		延べ参加者	-	0	0
		活動者	17	0	0
	ゆる～い生活支援 ありすの手	回数	16	71	31
		延べ参加者 (利用者)	16	71	31
		活動者	22	74	32
	てばなす	回数	1	5	5
		延べ参加者 (利用者)	7	62	24
		活動者	10	-	21
	ポスティング	回数	4	9	1
		活動者	11	26	5
	互ちそう会	回数	-	2	中止
		延べ参加者	-	-	
		活動者	-	32	
	フードパントリー	回数	-	-	4
		延べ参加者 (利用者)	-	-	74
活動者		-	-	39	
フードドライブ	回数	-	-	12	
	延べ参加者 (協力者)	-	-	87	
	活動者	-	-	31	
若松小登校見守り	回数	-	-	13	
	活動者	-	-	40	
白糸台文化センター	みんなのつどいしらいと	回数	12	10	7
		延べ参加者	234	130	58
		活動者	93	80	40
	若松小登校見守り	回数	-	-	13
		活動者	-	-	26
	生活支援 (仮称 / お試し)	回数	-	25	9
		延べ参加者 (利用者)	-	25	9
		活動者	-	29	9
	押立文化センター	まちかど互近所防災訓練、 防災講座への協力 (不定期開催)	回数	5	3
延べ参加者			-	208	0
活動者			20	17	0
ちょこっとお手伝い		回数	21	129	53
		延べ参加者 (利用者)	21	129	53
		活動者	21	131	53

実施圏域	内容	回数 / 参加者数 / 活動者	平成30年度	令和元年度	令和2年度
押立文化センター	男の料理教室	回数	3	7	中止
		延べ参加者	2	-	
		活動者	9	43	
	にこにこカフェ	回数	10	8	1
		延べ参加者	102	69	5
		活動者	58	44	5
	この指とまれ唄サロン	回数	12	20	-
		延べ参加者	240	160	-
		活動者	84	40	-
	地域の寺子屋	回数	-	9	3
		延べ参加者	-	29	20
		活動者	-	30	16
	フードパントリー	回数	-	-	11
		延べ参加者（利用者）	-	-	299
		活動者	-	-	111
	フードドライブ	回数	-	-	随時
		延べ参加者（協力者）	-	-	16
	六中フードドライブ	回数	-	-	2
		活動者	-	-	12
	南白小下校見守り	回数	-	-	27
		活動者	-	-	71
	あそぶすばこ	回数	-	-	中止
		延べ参加者	-	-	
		活動者	-	-	
	活動報告会の開催 （不定期開催）	回数	1	0	0
		延べ参加者	5	0	0
		活動者	12	0	0
	押立公園まつり出展	回数	2	2	中止
		活動者	22	36	
	押立地域文化祭出展	活動	1	2	中止
活動者		5	6		
街頭チラシ配布	回数	-	6	中止	
	活動者	-	44		
ちょこっとお手伝い説明会 （不定期開催）	回数	-	1	0	
	延べ参加者	-	6	0	
	活動者	-	8	0	
オンラインクリスマス会 （PR 配信）	回数	-	-	1	
	延べ参加者	-	-	52	
	活動者	-	-	10	
1街区フードパントリー ポスティング	回数	-	-	1	
	活動者	-	-	8	

実施圏域	内容	回数 / 参加者数 / 活動者	平成30年度	令和元年度	令和2年度
押立文化センター	マンション防災 ワークショップ (不定期開催)	回数	-	1	0
		延べ参加者	-	10	0
		活動者	-	9	0
	外部会議参加自主防災連絡会 (不定期参加)	回数	-	3	0
		活動者	-	5	0
	謎解き地域ラリー	回数	-	-	3
		延べ参加者	-	-	34
		活動者	-	-	93 (外部協力者含む)
	わがまちカフェ (不定期開催)	回数	1	1	0
		延べ参加者	10	-	0
活動者		12	7	0	
是政文化センター	あいさつし隊	回数	12	9	中止
		活動者	84	59	
	八小登校時見守り	回数	44	39	44
		活動者	312	313	461
	地域文化祭出展	回数	3	3	中止
		活動者	11	39	
	小柳町支え愛の会 ちょこっとお手伝い	回数	-	287	83
		延べ参加者 (利用者)	-	287	109
		活動者	-	291	83
	小柳町支え愛の会 ほっとサロン	回数	-	46	31
		活動者	-	84	56
	小柳町支え愛の会 小柳小パトロール	回数	-	61	89
		活動者	-	61	89
	小柳町支え愛の会 自治会イベントの手伝い	回数	-	6	6
		活動者	-	20	17
小柳町支え愛の会 かじやまのつどい	回数	-	-	40	
	延べ参加者	-	-	73	
	活動者	-	-	103	
新町文化センター	木曜サロン	回数	-	44	中止
		延べ参加者	-	1,022	
		活動者	-	123	
	栄町金曜サロン	回数	-	11	中止
		延べ参加者	-	216	
		活動者	-	36	
	ふれあいサロンほどほど	回数	-	10	中止
		延べ参加者	-	47	
		活動者	-	10	

実施圏域	内容	回数 / 参加者数 / 活動者	平成30年度	令和元年度	令和2年度
新町文化センター	新町子どもカレー食堂	回数	-	11	中止
		延べ参加者	-	662	
		活動者	-	50	
	新町子どもカレー食堂 フードパントリー	回数	-	-	11
		延べ参加者（利用者）	-	-	242
		活動者	-	-	41
	ちょこっとお手伝い （お試し）	回数	-	8	25
		延べ参加者（利用者）	-	9	25
		活動者	-	11	41
中央文化センター	ちょこっと支援	回数	28	54	18
		延べ参加者（利用者）	-	58	16
		活動者	30	60	20
	よるカフェ・つながり	回数	1	4	2
		延べ参加者	14	38	4
		活動者	7	38	12
片町文化センター	片文ささえ愛キャラバン	回数	3	-	-
		延べ参加者	40	-	-
		活動者	24	-	-
	ささえ愛ぽかぽかサロン	回数	-	5	中止
		延べ参加者	-	63	
		活動者	-	44	
	ちょこっとお手伝い	回数	-	-	11
		延べ参加者（利用者）	-	-	11
		活動者	-	-	14
	だんらんサロン	回数	-	中止	中止
		延べ参加者	-		
		活動者	-		
	PR 活動	回数	-	-	2
		活動者	-	-	12
	フードドライブ	回数	-	-	1
延べ参加者（協力者）		-	-	3	
活動者		-	-	-	
武蔵台文化センター	みんなのひろば北山町	回数	6	5	中止
		延べ参加者	60	33	
		活動者	54	25	
	みんなのひろば武蔵台	回数	3	5	中止
		延べ参加者	115	40	
		活動者	19	27	

実施圏域	内容	回数 / 参加者数 / 活動者	平成30年度	令和元年度	令和2年度
武蔵台文化センター	お便り配布	回数	-	-	1
		配布数	-	-	38
	ちょこっとお手伝い	回数	-	20	37
		延べ参加者（利用者）	-	22	37
		活動者	-	29	39
	フードパントリー	回数	-	-	1
延べ参加者（利用者）		-	-	14	
活動者		-	-	9	
西府文化センター	わがまちサロン にしふらっと！	回数	12	10	4
		延べ参加者	179	146	38
		活動者	119	100	39
	ちょこっとお手伝い （お試し）	回数	-	9	7
		延べ参加者（利用者）	-	9	7
		活動者	-	15	14
	学童クラブからの帰宅同行	回数	-	-	17
活動者		-	-	39	
住吉文化センター	だれでもふらっとサロン	回数	12	11	6
		延べ参加者	85	135	68
		活動者	104	90	30
	おかえり広場住吉	回数	48	44	7
		延べ参加者（利用者）	151	180	20
		活動者	308	307	23
	おかえり広場南町	回数	-	-	20
		延べ参加者（利用者）	-	-	66
		活動者	-	-	86
	地域まつり	回数	2	2	中止
		活動者	13	25	
	福祉センターまつり	回数	-	1	中止
		活動者	-	6	
	おかえり広場保護者会 PR	回数	-	2	-
		活動者	-	7	-
ちょこっとお手伝い	回数	-	6	26	
	延べ参加者（利用者）	-	6	26	
	活動者	-	13	47	
四谷文化センター	菜々のつどい	回数	12	15	中止
		延べ参加者	224	289	
		活動者	119	85	

実施圏域	内容	回数 / 参加者数 / 活動者	平成30年度	令和元年度	令和2年度
四谷文化センター	ゆうやけ四谷	回数	71	113	58
		延べ参加者（利用者）	38	86	0
		活動者	236	228	106
	ゆうやけ日新	回数	-	20	33
		活動者	-	20	33
	フードドライブ	回数	-	-	5
		延べ参加者（協力者）	-	-	81
		活動者	-	-	32
	定期総会（報告会） （不定期開催）	回数	1	1	0
		延べ参加者	22	13	0
		活動者	14	10	0
	地域まつりチラシ配布	回数	-	1	中止
		参加者	-	5	
	夏休みマヨネーズ教室 （キューピー協力）	回数	-	1	中止
		延べ参加者	-	12	
		活動者	-	7	
	フリーマーケット	回数	2	2	中止
		延べ参加者	50	100	
		活動者	15	17	
	シニアクラブ役員会で活動PR （不定期開催）	回数	-	3	0
		活動者	-	10	0
よつや正吉苑 餅つき手伝い	回数	-	1	中止	
	活動者	-	8		
お便り配布	回数	-	-	7	
	配布数	-	-	401	
	活動者	-	-	14	



コーディネーター活動状況

圏域	年度	地域支援							個別支援					
		訪問	電話	来所	関係形成	立上支援	運営支援	連絡調整	訪問	電話	来所	関係形成	個別支援	連絡調整
紅葉丘	平成30年度	175	173	40	23	58	149	162	134	346	47	11	341	176
	令和元年度	326	404	113	94	20	245	498	174	427	112	18	463	241
	令和2年度	195	378	88	21	11	282	364	186	605	141	10	696	237
白糸台	平成30年度	70	77	6	6	28	65	65	52	248	16	14	137	172
	令和元年度	89	105	9	11	40	91	85	75	275	16	25	178	191
	令和2年度	55	124	4	6	27	50	118	83	357	19	35	310	153
押立	平成30年度	128	34	8	11	1	132	36	113	141	45	26	155	137
	令和元年度	148	146	21	17	1	234	110	68	207	48	22	158	166
	令和2年度	107	158	8	17	0	198	158	78	134	19	48	142	87
是政	平成30年度	151	36	9	11	54	118	18	8	42	8	2	54	3
	令和元年度	155	89	6	14	57	174	2	31	43	7	2	65	15
	令和2年度	66	312	18	2	99	145	160	35	163	16	24	194	11
新町	平成30年度	85	36	20	16	34	102	17	29	104	33	22	125	38
	令和元年度	163	128	26	47	44	196	69	131	361	42	103	294	272
	令和2年度	131	264	32	39	136	157	120	87	435	61	46	288	335
中央	平成30年度	135	167	56	30	77	230	58	99	416	81	12	457	127
	令和元年度	110	328	46	19	50	302	142	140	775	55	4	680	287
	令和2年度	41	524	86	8	2	406	223	81	474	62	7	521	97
片町	平成30年度	45	20	2	9	21	42	9	60	210	121	15	271	117
	令和元年度	155	47	21	73	36	68	62	41	224	118	29	239	144
	令和2年度	95	155	13	15	30	76	152	65	170	53	28	194	93
武蔵台	平成30年度	138	50	11	56	42	87	31	118	355	83	53	303	230
	令和元年度	146	69	10	42	37	113	41	119	469	126	36	427	287
	令和2年度	89	155	9	17	24	102	114	118	522	121	27	556	195
西府	平成30年度	77	87	9	48	30	52	82	51	296	33	41	209	166
	令和元年度	139	226	17	190	38	86	204	87	513	31	117	367	260
	令和2年度	51	471	2	27	103	36	419	55	375	6	33	298	128
住吉	平成30年度	206	216	15	28	46	178	197	90	215	119	54	298	100
	令和元年度	215	267	24	47	6	253	233	108	391	159	102	513	140
	令和2年度	111	320	18	8	5	191	248	76	625	103	80	591	203
四谷	平成30年度	162	239	27	11	14	192	217	46	91	14	13	102	48
	令和元年度	214	251	34	20	44	245	198	24	62	11	13	62	30
	令和2年度	86	271	14	7	3	154	205	3	32	5	5	36	6
その他 (市外・圏域 不明等)	平成30年度	45	33	46	21	2	87	32	20	2	17	7	34	6
	令和元年度	50	90	34	30	10	117	87	1	2	15	23	1	3
	令和2年度	61	260	51	4	2	134	272	1	75	34	3	68	41

圏域	年度	地域支援							個別支援					
		訪問	電話	来所	関係形成	立上支援	運営支援	連絡調整	訪問	電話	来所	関係形成	個別支援	連絡調整
合計	平成30年度	1,417	1,168	249	270	407	1,434	924	820	2,466	617	270	2,486	1,320
		2,834			3,035				3,903			4,076		
	令和元年度	1,910	2,150	361	604	383	2,124	1,731	999	3,749	740	494	3,447	2,036
		4,421			4,842				5,488			5,977		
	令和2年度	1,088	3,392	343	171	442	1,931	2,553	868	3,967	640	346	3,894	1,586
		4,823			5,097				5,475			5,826		

相談対応件数

(人/件)

圏域	実相談者数 / 対応件数	平成30年度	令和元年度	令和2年度
紅葉丘文化センター	実相談者数	18	36	53
	対応件数	527	713	932
白糸台文化センター	実相談者数	26	39	41
	対応件数	316	366	459
押立文化センター	実相談者数	42	34	47
	対応件数	299	323	231
是政文化センター	実相談者数	17	14	26
	対応件数	58	81	214
新町文化センター	実相談者数	38	101	92
	対応件数	166	534	583
中央文化センター	実相談者数	32	91	68
	対応件数	596	970	617
片町文化センター	実相談者数	33	52	56
	対応件数	391	383	288
武蔵台文化センター	実相談者数	56	99	90
	対応件数	556	714	761
西府文化センター	実相談者数	28	93	45
	対応件数	380	631	436
住吉文化センター	実相談者数	74	99	100
	対応件数	424	658	804
四谷文化センター	実相談者数	20	24	20
	対応件数	151	97	40
その他 (市外・圏域不明等)	実相談者数	7	5	11
	対応件数	39	18	110
合計	実相談者数	391	687	649
	対応件数	3,903	5,488	5,475

※対応件数は延件数。1回のうちの対応で、複数の連絡調整など行なった場合もカウント。

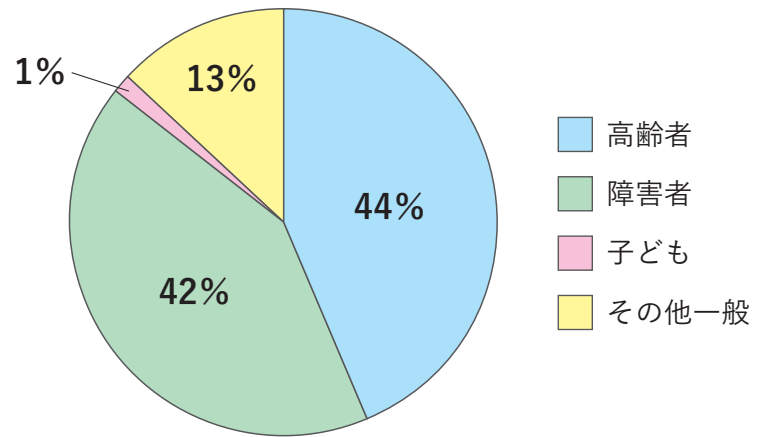


相談者分類

平成30年度

(件)

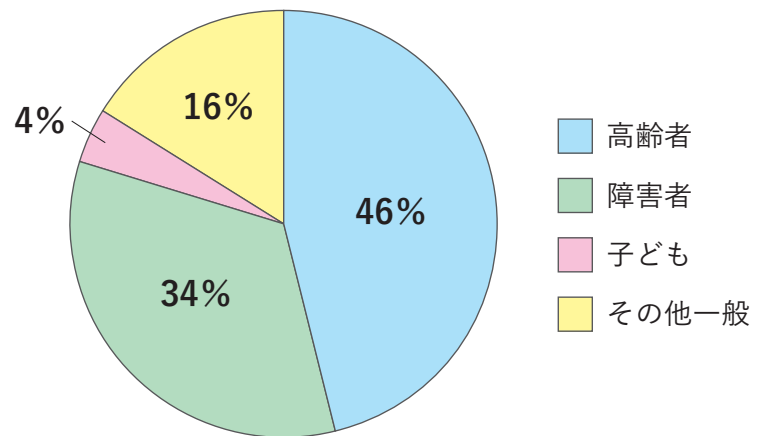
分類	平成30年度
高齢者	1,285
障害者	1,236
子ども	40
その他一般	381
合計	2,942



令和元年度

(件)

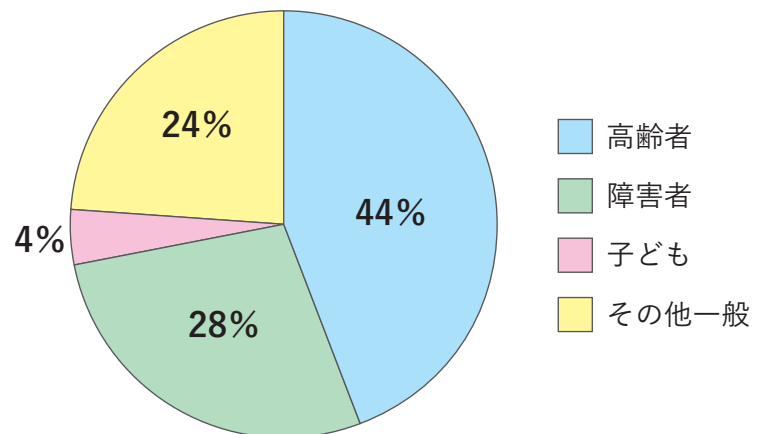
分類	令和元年度
高齢者	1,909
障害者	1,388
子ども	166
その他一般	664
合計	4,147



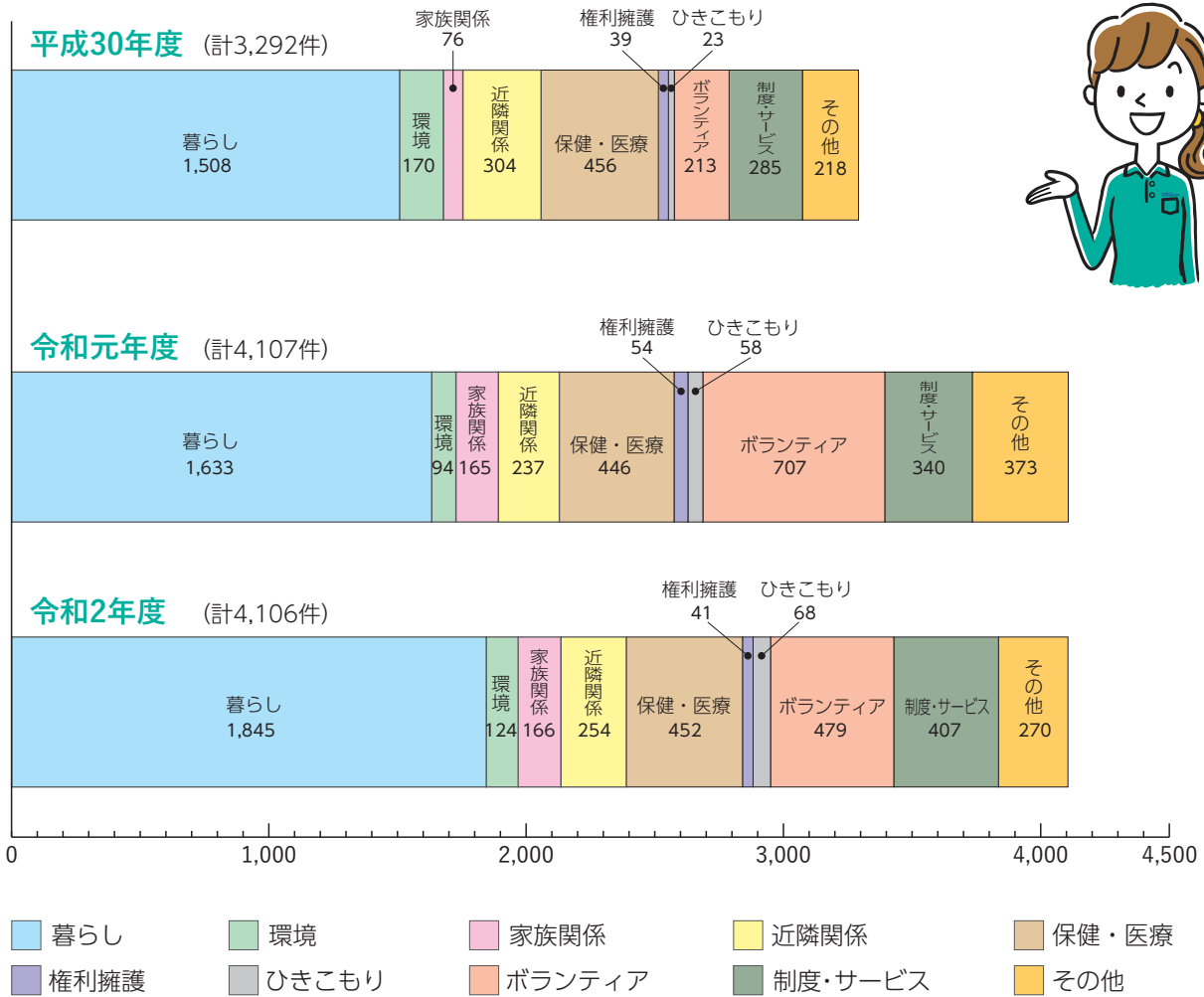
令和2年度

(件)

分類	令和2年度
高齢者	1,800
障害者	1,124
子ども	173
その他一般	960
合計	4,057



相談内容分類



※ 1回の相談で2つ以上の内容が含まれる場合、両方カウント。

分類	主な相談内容
暮らし	住居(立ち退きなど)、就活、居住保証、金銭問題(管理不十分など)
環境	庭木、片付け、交通事情(危険個所)、ペットの糞尿問題 など
家族関係	子との同居・別居、離婚、不登校 など
近隣関係	ゴミ屋敷、迷惑行為(騒音、徘徊、異臭)、嫌がらせ、子育ての様子、安否が心配 など
保健・医療	体調、病院を変えたい、認知症の疑い など
権利擁護	法律関係、訴訟、相続、財産分与、消費者トラブル など
ひきこもり	ひきこもり(情報提供、関係形成、関わりを持ってほしい、気にかけてほしい)
ボランティア	特技をいかしたい、ボランティアをしたい、ボランティアをしてほしい
制度・サービス	介護保険、おはようふれあい事業など
その他	居場所が欲しい、サロンについて、訪問販売、犬の散歩ができない など

困りごと相談会開催状況

(回 / 件 / 人)

会場、開催年月	開催数 / 延べ相談件数 / 実人数	平成30年度	令和元年度	令和2年度
押立文化センター 平成28年11月～	開催数	49	49	39
	延べ相談件数	154	117	103
	実人数	26	56	45
武蔵台文化センター 平成28年11月～	開催数	48	47	36
	延べ相談件数	135	110	93
	実人数	16	31	26
住吉文化センター 平成29年11月～	開催数	44	47	35
	延べ相談件数	120	147	114
	実人数	25	64	49
紅葉丘文化センター 平成30年11月～	開催数	15	34	32
	延べ相談件数	36	93	100
	実人数	16	39	35
新町文化センター 令和元年9月～	開催数	0	28	37
	延べ相談件数	0	62	60
	実人数	0	47	49
片町文化センター 令和元年9月～	開催数	0	28	35
	延べ相談件数	0	48	60
	実人数	0	36	38
合計	開催数	156	233	214
	延べ相談件数	445	577	530
	実人数	83	273	242



地域支援を行った団体

【生活支援コーディネーター】

- ・わがまち支えあい協議会運営支援、及び準備委員会立上げ支援
- ・ふれあいいきいきサロン活動 サロンマップの会・連絡会・交流会等
- ・小柳町支え愛の会（運営会議・エリア連絡会など）
- ・認知症サポーター養成講座
- ・元気いっぱいサポーター養成研修
- ・65歳限定体力測定会
- ・元気一番!! ひろめ隊連絡会

【地域福祉コーディネーター】

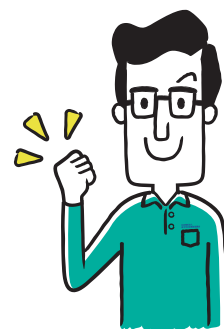
- ・小柳町支え愛の会 運営支援
- ・栄町金曜サロン 運営支援
- ・新町子どもカレー食堂 運営支援
- ・あなたの食堂 立上げ・運営支援
- ・小柳町5町会交流イベント
- ・ひがしふちゅう駅前こども食堂 立上げ・運営支援
- ・リムザ夏祭り
- ・南府中自治会夏祭り
- ・マッピングパーティー
- ・よつやご近助会連絡会
- ・リムザ防災訓練・餅つき
- ・第八中学校防災訓練
- ・四谷文化センター圏域自主防災連絡会総会
- ・本宿町4丁目自治会寒梅の集い
- ・認知症サポーター養成講座
- ・府中市民生委員児童委員協議会第6地区（情報交換）
- ・社会医学技術学院（事業説明）
- ・泉苑ケアマネサロン（事業説明）
- ・困窮者支援連絡会つながりPlus
- ・現任（2）＜前期＞民生児童委員研修（コーディネーター実践報告）
- ・都民連高齢福祉部会（コーディネーター実践報告）
- ・自立支援ケア会議の実施に向けた模擬会議
- ・認知症でも安心！わがまち府中2018
- ・ふれあいサロンほどほど 運営支援
- ・木曜サロン 運営支援

- ・小柳町南町会盆踊り
- ・小柳小学校の災害備品を確認する会
- ・多磨町ネットワーク会議
- ・小柳町南町会防災マニュアル意見交換会
- ・小柳町南町会防災マニュアル説明会
- ・小柳小学校における避難所体験会
- ・新成区盆踊り
- ・にっころ食堂 立上げ・運営支援
- ・南町中島通り自治会
- ・井戸端サロン 運営支援
- ・みんなのサロン
- ・幸町2丁目誰でもやまもサロン
- ・男暖サロン
- ・すまいる（サロン）
- ・西府文化センター圏域自治会連絡調整
- ・本宿町4丁目自治会盆踊り
- ・本宿町三丁目自治会盆踊り
- ・日新町自治会盆踊り
- ・エフユニバース府中の杜夏祭り
- ・西府町団地自治会納涼祭
- ・フリーサロン西府三丁目
- ・えんがわサロン
- ・日新町西自治会バーベキュー大会
- ・是政三丁目東部町内会防災研修
- ・府中第一中学校避難所開設訓練
- ・認知症サポーターステップアップ講座
- ・本宿町4丁目自治会役員会事業説明
- ・東京武蔵府中ロータリークラブ
- ・クラブリムザ運営委員会
- ・サマリヤボランティアクラブ 運営支援
- ・第五学童クラブとの打合せ
- ・本宿学童クラブとの打合せ
- ・徒歩で行く我が家の避難訓練
- ・府中第五中学校避難所運営ゲーム
- ・日新小学校防災訓練（初動班）
- ・西原町自治会盆踊り

助成金交付件数

(件)

	平成30年度	令和元年度	令和2年度
地域交流サロン活動	12	15	3
その他の地域福祉活動	6	8	4
福祉関係団体	5	6	6
わがまち支えあい協議会	2	3	5



出張ボランティア実施回数

(回)

	平成30年度	令和元年度	令和2年度
車いす体験	39	30	0
高齢者疑似体験	11	7	0
ガイドヘルプ体験	16	11	0
点字体験	9	8	0
手話体験	5	5	3
福祉講話	3	2	0
HUG	3	2	0
視覚障害者講演	2	3	2
合計	88	68	5



外部会議等への出席状況

生活支援コーディネーター（1層）

- ・府中市在宅医療・介護連携会議（全体会）
同上認知症部会
- ・府中市地域支援ネットワーク関係者連絡会
- ・府中市介護予防事業検討会議
- ・地域包括支援センター高齢者地域支援連絡会
- ・困窮者支援連絡会つながりPlus
- ・北多摩南部食生活・栄養ネットワーク連絡会
- ・自立支援ケア会議（西部地区）事前会議・終了会議
（中央地区）事前会議・終了会議
（東部地区）事前会議・終了会議
- ・介護予防コーディネーター作業部会
- ・府中市地域包括支援センター長会議（サービスC振り返り）
- ・フレイル予防講習会内容検討打合せ
- ・フレイル予防講習会（第1日・2日・第3日）
- ・府中市地域リハビリテーション活動支援検討会議
- ・認知症サポーター活動推進全国ブロック別説明会
- ・府中市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画推進協議会
- ・令和3年度介護予防新規事業検討

地域福祉コーディネーター・ 生活支援コーディネーター（2層）

- ・府中市民生委員児童委員協議会（地区協議会）
- ・高齢者地域支援連絡会（地域包括支援センター）
- ・合同高齢者地域支援連絡会（地域包括支援センター）
- ・多磨町福祉部会（ネットワーク）
- ・府中市地域包括支援センター長会議
- ・小規模多機能居宅介護ケアホームこまつ運営会議
- ・小規模多機能居宅介護車返団地コラボケアセンター運営推進会議
- ・地域づくりをすすめるコーディネーター推進プロジェクト
- ・多摩地域子ども食堂交流会
- ・車返団地デイサービスセンター・スカイ運営推進会議
- ・小規模多機能居宅介護よつや正吉苑運営推進会議

- ・白鳥寮運営会議
- ・あさひ苑高齢者在宅サービスセンター運営推進会議
- ・府中市要保護児童対策地域協議会代表者会議
- ・困窮者支援連絡会つながりPlus
- ・自殺対策関係者連絡会
- ・自殺対策関係者連絡会分科会
- ・文化センター地域まつり
- ・文化センター地域文化祭
- ・押立公園まつり
- ・多摩同胞会 家族支援情報交換会
- ・地域づくりをすすめるコーディネーター連絡会
- ・府中市子ども子育て審議会
- ・江東区社協視察
- ・児童関係機関による地区連絡会議
- ・府中市自殺対策における事例検討会
- ・新任民生委員事務説明
- ・第4回多職種事例検討会（包括みなみ町主催）
- ・府中市子ども食堂連絡会
- ・子ども家庭支援センターたち運営会議
- ・子ども家庭支援センターしらとり運営会議
- ・グループホームはなまるホーム運営推進会議
- ・府中市教職員・教育関係者対象自殺対策研修会
- ・住吉文化センターエリア「地域における公益的な取組に関する懇談会」
- ・地域子ども・子育て応援連絡会
- ・多職種事例検討会（包括みなみ町主催）
- ・フードバンクいたばし第2回定期総会
- ・タウンミーティング府中のバリアフリーを考える
- ・第69回社会を明るくする運動府中市推進大会
- ・府中市11圏域別グループディスカッション
- ・自立支援協議会「地域生活支援拠点等を考える意見交換会」
- ・地域づくりをすすめるコーディネーター連絡会「生活困窮者支援を通じた地域づくり」
- ・地域づくりをすすめるコーディネーター言語化・見える化プロジェクト
- ・地域包括支援センター緑苑地区民生委員との情報交換会
- ・子ども家庭支援センターたち利用者支援事業地域連携会議

外部研修等への出席状況

- ・生活支援体制整備事業情報交換会（東京都）
- ・生活支援コーディネーター現任者研修Ⅰ（東社協）
- ・生活支援コーディネーター現任者研修Ⅱ（東社協）
- ・生活支援コーディネーター初任者研修（東社協）
- ・地域福祉コーディネーターリーダー研修
- ・虐待等防止対策研修会（多摩総合医療センター）
- ・府中市関連団体職員合同研修会「定年退職後のライフプラン・マネープランと働き方」
- ・府中市教職員・教育関係者対象自殺対策研修会
- ・包括的支援体制及び地域福祉（活動）計画に関する情報交換会
- ・地域福祉フォーラム（東社協／オンライン）
- ・府中市居住支援セミナー

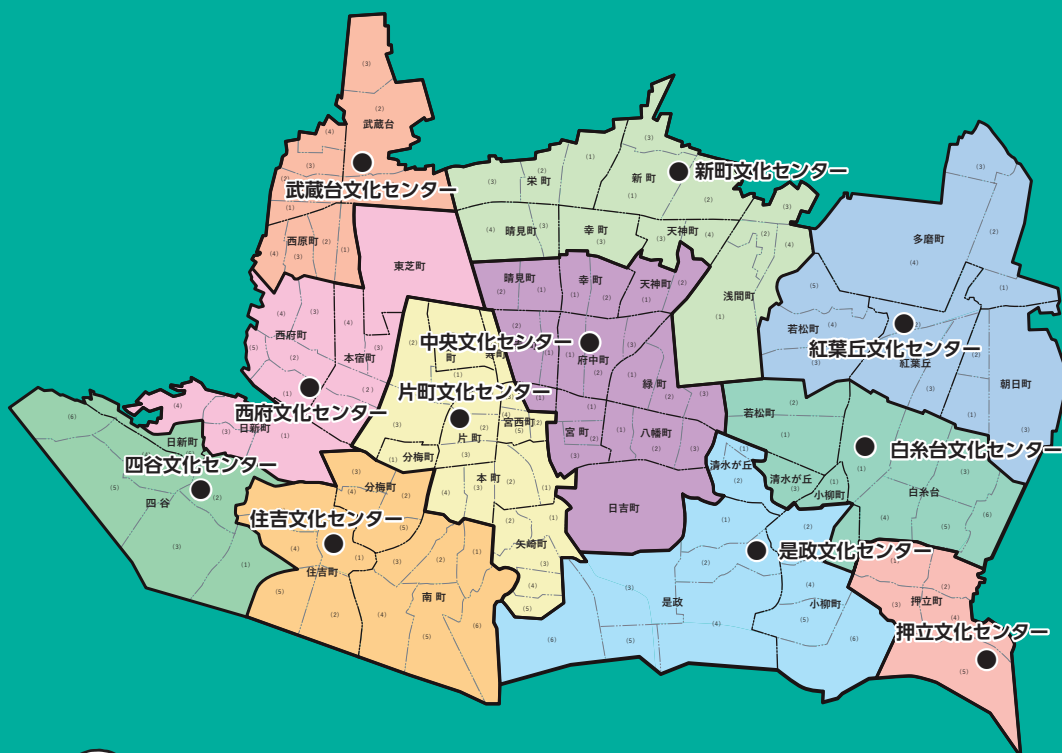


用語解説 ①

	用語	解説
う	運営支援	わがまち支えあい協議会、地域団体、グループ、サロンが立上がった後の運営支援
か	関係形成	地域住民、団体、グループ、当事者との関係づくりのための訪問・連絡調整
け	傾聴講座	傾聴と話し相手のペースに寄り添い、気持ちに耳を傾けることです。聴き方が変化することで、話し手（相手）が自ら考え、気づき、行動に変化が現れます。コミュニケーションスキルとして身に着けるための講座。
こ	孤食	1人で食事をとること。子どもや高齢者の孤食による心身への影響等の様々なリスクが指摘されている。
	子ども食堂	地域住民が主体となり、無料または低価格帯で子どもたちに食事を提供するコミュニティの場であり、だれでも気軽に来られる食を通じて地域住民同士がつながる場。
さ	在宅福祉助け合い事業	府中市社協が実施する、おおむね60歳以上の方や障害のある方が、地域で安心して暮らせるように、市民相互の助け合いにより家事や介護等の援助を提供することで、生活を支えていく事業。
	サロンマップ	地域住民が主体となって、地域の高齢者や障害者（児）、及び子育て中の親子等が住み慣れた地域のなかで孤立することなく、生きがいをもち笑顔で安心して暮らすために日常的なふれあいや交流を行うことができる場である「ふれあいいいききサロン」の情報を掲載したマップ。市内全域の情報を1枚に集約した「サロンマップ」と、文化センター圏域ごとに、サロンの情報とわがまち支えあい協議会の活動情報を掲載した「わがまちサロンマップ」の2種類を作成・発行している。
し	社会的孤立	家族や地域社会との交流が、客観的にみて著しく乏しい状態。高齢者に限らず、若者や中高年等世代を超えて拡大しており、社会的孤立に関連した社会問題も発生している。
	若年性認知症	65歳未満で発症した認知症
	重層的支援体制整備事業	市町村全体の支援機関・地域の関係者が断らず受け止め、つながり続ける支援体制を構築することをコンセプトに「属性を問わない相談支援」「参加支援」「地域づくりに向けた支援」の3つの支援を一体的に実施することを必須にしています（厚生労働省地域共生社会のポータルサイトより）
	就労移行支援事業	就労を希望する障害者であって、通常の事業所に雇用されることが可能と見込まれるものにつき、生産活動、職場体験その他の活動の機会の提供その他の就労に必要な知識及び能力の向上のために必要な訓練、求職活動に関する支援、その適性に応じた職場の開拓、就職後における職場への定着のために必要な相談その他の必要な支援を行います。（厚生労働省ホームページより）
す	スクールソーシャルワーカー（SSW）	問題を抱えた児童生徒に対し、当該児童生徒が置かれた環境へ働きかけたり、関係機関等とのネットワークを活用したりするなど、多様な支援方法を用いて、課題解決への対応を図っていく役割をもつ。教育分野に関する知識に加えて、社会福祉等の専門的な知識や技術を有する者。（文部科学省HPより）
そ	相談支援専門員	障害のある人が自立した日常生活、社会生活を営むことができるよう、障害福祉サービスなどの利用計画の作成や地域生活への移行・定着に向けた支援、住宅入居等支援事業や成年後見制度利用支援事業に関する支援など、障害のある人の全般的な相談支援を行う。
た	立上げ支援（立上支援）	わがまち支えあい協議会、地域団体、グループ、サロンの立上げの支援

用語解説 ②

	用語	解説
ち	地域包括ケアシステム	要介護状態となっても、住み慣れた地域で自分らしい生活を最後まで続けることができるように地域内で助け合う体制のこと。それぞれの地域の実情に合った医療・介護・予防・住まい・生活支援が一体的に提供される体制を目指しています。（健康長寿ネットより）
	地域共生社会	地域共生社会とは 世代や分野を超えてつながることで、住民一人ひとりの暮らしと生きがい、地域をともに創っていく社会を指す。
	地域公益活動	すべての社会福祉法人は、その高い公益性にかんがみ、「社会福祉事業及び第26条第1項に規定する公益事業を行うに当たっては、日常生活又は社会生活上の支援を必要とする者に対して、無料又は低額な料金で、福祉サービスを積極的に提供するよう努めなければならない」という責務が課されており、地域の福祉ニーズ等を踏まえつつ、法人の自主性、創意工夫による多様な地域貢献活動が行われています。（社会福祉法第24条第2項より）
	ちょっとした生活支援（ちょこっとお手伝い／ちょこっと支援）	公的サービスでは対応することが難しい、電球交換やゴミ出しなどの地域住民同士でできる30分程度の助け合い活動。
と	特別支援教室	通常の学級に在籍する知的障害のない発達障害又は情緒障害であり、通常の学級での学習におおむね参加でき、一部特別な指導を必要とする児童・生徒が対象の教室。（府中市ホームページより）
に	認知症カフェ	認知症の人とその家族が気軽に立ち寄れるカフェのことで、地域の人たちとのつながりを作るきっかけができる場所。
は	HUG	HINANJO（避難所）、UNEI（運営）、GAME（ゲーム）の頭文字を取ったもので、英語で「抱きしめる」という意味も含んでおり避難者を優しく受け入れる避難所のイメージと重ね合わせて名付けられたもの。避難者の情報（年齢・性別・家族構成・持病など）が書かれたカードを、避難所となる体育館や教室に見立てた紙の上に、適切に配置する内容。その他、避難所で起こる様々な出来事にも対処するなど、避難所運営全般を体験できる。
ふ	フードドライブ	主に家庭などで余っている食品の寄付を募り、フードバンクなどを通して地域の福祉団体や施設、必要とする人などに提供する活動。
	フードバンク	まだ食べられる余った食品を家庭・企業等より寄付を受け、食べ物に困っている世帯・団体等へお届けする活動。食品ロス削減目的の活動でもある。
	フードパントリー	生活に困っている世帯へ無償で食品を配布する活動。
	フードロス	本来食べられるのに捨てられてしまう食品をいう。食べ物を捨てることはもったいないことで、環境にも悪い影響を与えてしまう。（農林水産省ホームページより）
	ふわりまち歩きシート	地域情報シート。地域なんでも相談員が日々の生活の中で気づいたことを分かりやすく整理し次の活動につなげることを目的としている。
れ	連絡調整	本人、関係機関との連絡調整、簡単なやりとり
わ	ワールドカフェ方式	カフェでくつろいでいるようになりリラックスした雰囲気の中で、テーマに集中した対話を行います。メンバーの組み合わせを変えながら4～5人単位の小グループで話し合いを続けることにより、あたかも参加者全員が話し合っているような効果が得られます。（world café.netより）



府中市社会福祉協議会

地域福祉コーディネーター
生活支援コーディネーター

平成30年度～令和2年度活動報告書

令和3年10月 発行

発行者：社会福祉法人 府中市社会福祉協議会
〒183-0055 府中市府中町1-30 ふれあい会館内

電話：042-364-5137 FAX：042-362-9090
ホームページ：http://www.fsyakyo.or.jp/
メール：mail@fsyakyo.or.jp



2次元コードから
ホームページへ
移動できます